



IPv4 over IPv6 対応 Wi-Fi アクセスポイント/ルーター

FGN[®] 1700

— 設定説明書 —



目次

安全にお使い頂くために.....	5
1 はじめに.....	9
1.1 製品の特長.....	9
1.2 各部の名称と機能.....	9
1.3 設置方法.....	11
1.4 配線方法.....	12
2 Web 設定について.....	13
2.1 Web GUI へのアクセス方法.....	13
2.1.1 GUI にアクセス出来ない場合の確認事項.....	14
2.2 各設定ボタン動作について.....	14
3 状態表示.....	15
4 動作モード.....	21
5 ネットワーク設定.....	23
5.1 LAN 設定.....	23
5.1.1 DHCP サーバーのクライアント表示.....	24
5.1.2 固定 IP アドレス付与設定.....	25
5.2 WAN 設定.....	26
5.2.1 IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント.....	27
5.2.2 IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント.....	29
5.2.3 IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定.....	31
5.2.4 IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト.....	33
5.2.5 IPv6 設定 WAN 接続モード IPoE : RA type.....	34
5.2.6 IPv6 設定 WAN 接続モード 無効.....	34
5.3 VLAN 設定.....	35
5.3.1 VLAN IP 設定.....	36
5.4 有線 LAN ポート設定.....	37
5.5 IPv4 ファイアウォール設定.....	38
5.5.1 MAC フィルタリング設定.....	38
5.5.2 ルーター宛フィルタリング設定.....	39
5.5.3 ルーター通過フィルタリング設定.....	41
5.5.4 ポートマッピング設定.....	43
6 無線 LAN 設定.....	45
6.1 無線 LAN(5GHz).....	45
6.1.1 基本設定.....	45
6.1.2 マルチ SSID 設定.....	47
6.1.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示.....	49
6.1.3 セキュリティ設定.....	50
6.1.3.1 暗号モード WEP.....	51

6.1.3.2	暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (事前共有キー)	52
6.1.3.3	暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (RADIUS 認証)	53
6.1.4	拡張設定	54
6.1.5	アクセス制御設定	55
6.1.6	スケジュール設定	56
6.1.7	サイトサーベイ	57
6.2	無線 LAN(2.4GHz)	58
6.2.1	基本設定	58
6.2.2	マルチ SSID 設定	60
6.2.2.1	無線 LAN 接続クライアント表示	62
6.2.3	セキュリティ設定	63
6.2.3.1	暗号モード WEP	64
6.2.3.2	暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (事前共有キー)	65
6.2.3.3	暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (RADIUS 認証)	66
6.2.4	拡張設定	67
6.2.5	アクセス制御設定	68
6.2.6	スケジュール設定	69
6.2.7	サイトサーベイ	70
6.3	WPS 設定	71
7	システム管理	72
7.1	パケット送受信量 統計	72
7.2	システムモニタ	73
7.3	時刻情報設定	74
7.4	DoS 検知・防御設定	75
7.5	ネットワークユーティリティ	76
7.6	システムログ	77
7.7	ファームウェアバージョンアップ	78
7.8	設定保存・読み込み・初期化	79
7.9	ユーザー・パスワード設定	80
7.10	ローカル再起動時刻設定	81
8	再起動とログアウト	82
9	ユーザーログインモード	83
9.1	無線 LAN(5GHz) 設定	85
9.1.1	基本設定	85
9.1.2	無線 LAN 5GHz マルチ SSID 設定	86
9.2	無線 LAN(2.4GHz) 設定	87
9.2.1	基本設定	87
9.2.2	無線 LAN 2.4GHz マルチ SSID 設定	88
9.3	ログアウト	89

10	付録.....	90
10.1	設定例 - VLAN 設定(ネットワークを分離するケース).....	90
10.2	工場出荷値一覧.....	92
10.3	入力・登録制限値一覧.....	94
10.4	製品仕様.....	95
10.5	筐体寸法.....	97
10.6	トラブルシューティング/Q&A 集.....	98

安全にお使い頂くために

— ご注意 —

- 本機の故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外的要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失、及び誤った設定を行ったために生じた損害賠償につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 通信内容の漏洩や改ざん等による精神的損害・純粋経済損失につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 本機は日本国内向け技術基準適合証明のみ取得しておりますので、海外では利用できません。

— 無線 LAN に関する注意事項（2.4GHz 帯使用の無線機器について） —

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合には、通信環境・設置環境（混信回避のための処理、パーティションの設置等）をご確認下さい。
- 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- 本機を電子レンジの近くで使用しないで下さい。
電子レンジ使用時、電磁波の影響によって本機の無線通信が妨害される恐れがあります。
- 本機の電波の種類と干渉距離については下記の通りです。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- DS/OF : DS-SS 方式、及び OFDM 方式を示します。
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を示します。
- ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能なことを示します。

— 無線 LAN に関する注意事項（5GHz 帯使用の無線機器について） —

- 5. 2/5. 3GHz 帯域を屋外で使用することは、電波法によって禁止されています。

—お取り扱い上のご注意—

安全に正しくお使い頂き、お客様や財産への損害を防ぐために、以下のマークの記されている項目を必ずお守り下さい。

！警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

！注意

取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

！警告

- 極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器、電算機システム、医療システム等）では使用しないで下さい
- 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- 落雷の恐れがある場合は本機の使用を直ちに中止し、接続されているケーブルを取り外して下さい。落雷により本機及び本機が接続されている機器の故障、発煙、発火の可能性があります。なお、落雷等の天災による故障の場合、保障期間内であっても有償修理となりますので、あらかじめご了承下さい。
- 本機から煙が出たり異臭が発生した場合等、異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。その際は電源を切り、煙が出なくなる、もしくは異臭が消えることを確認した後、当社へご連絡下さい。
- 濡れた手で本機及び電源アダプターの操作や接続作業を行わないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源アダプターは必ず付属のものを使用し、それ以外のは絶対に使用しないで下さい。火災、故障の原因となります。
- 電源アダプターのコードを傷つけたり、無理な力を加えたり、ものを乗せたりしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源アダプターのプラグとコンセントの間のほこりは定期的（半年に1回程度）に取り除いて下さい。そのまま放置すると火災の原因となります。
- 電源アダプターを抜き差しする時は、必ず電源アダプター本体を持って行って下さい。電源アダプターのコードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電の原因となります。
- AC100V の家庭用・商用電源以外では使用しないで下さい。また、たこ足配線をしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機を分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。また、故障した場合、保証期間内であっても保証を受けられなくなります。
- 本機の近くに花瓶や植木鉢、コップ、化粧品、薬品等の液体が入った容器、小さな金属等を置かないで下さい。これらの異物が本製品の内部に混入した場合、火災、感電、故障の原因となります。また、本機の内部に水や金属等の異物が混入した場合、すぐに本製品の電源を OFF にし、販売元へご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

！注意

- 本機を不安定な場所に設置したり、本機の上にものを置かないで下さい。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガや本機の故障の原因となります。
- 本機は屋内用として開発されております。屋外へ設置しないで下さい。雨やほこり等により故障、破損の原因となります。
- 本機を調理台の近く等、油飛びや湯気のあたるような場所、及びごみやほこりの多い場所に設置しないで下さい。故障、破損の原因となります。
- 本機を高温多湿な場所、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、熱器具や加湿器の近くで設置・保管・放置しないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。
- 本機の動作中は本機内部及び外側が熱くなることがあります。本機のそばにビニール等、熱により溶けやすいものを置かないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。
- 本機を他の機器の上に設置しないで下さい。変色、変形の原因となります。
- 本機の通気孔をふさいだり、重ねて設置しないで下さい。火災、故障、破損の原因となります。
- 本機を温度差の激しいところや、結露するような場所へ設置しないで下さい。故障の原因となります。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電源アダプターをコンセントから外し、本機に接続されている各種ケーブルを外して下さい。
- 本機を長期間無人で使用する際は、必ず定期的に保守/点検を行って下さい。

！注意

- 本機の上に乗らないで下さい。本機が破損し、ケガや感電の原因となります。
- 本機背面の各コネクタに異物を挿入しないで下さい。感電、火災、故障の原因となります。

—無線 LAN のセキュリティについて—

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる。
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、
 - ・ID やパスワード
 - ・クレジットカード番号等の個人情報
 - ・メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される。
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - ・個人情報や機密情報を取り出す。(情報漏洩)
 - ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す。(なりすまし)
 - ・傍受した通信内容を書き換えて発信する。(改ざん)
 - ・コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する。(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、適宜、セキュリティに関する設定を行い、本機を使用して下さい。

—その他 無線 LAN に関する留意事項—

- 無線 LAN が使用する電波は、一般家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも内部に金属補強材が使われている場合は通過しません。
- ビル内等の比較的広いフロアであっても、フロア内に金属製パーティション等の遮蔽物がある場合、通信できないことがあります。
- 本機を使用することにより、テレビ、ラジオ、携帯電話等に雑音が入る場合、以下のように対処して下さい。
 - ・本機の設置場所を変える。
 - ・雑音が入る機器と本機の距離を離す。
 - ・雑音が入る機器と本機の電源を、それぞれ別の場所から取る。
- 通信速度は無線 LAN 規格で定められたデータ通信速度の最大値であり、実際のデータ通信速度（実効値）ではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や通信速度は、使用環境や周辺環境により大きく変動します。

—電波障害に関する自主規制について—

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

—商標について—

- 以下の製品名は米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における商標です。
 - Microsoft^(R) Windows^(R) 7 Operating System
 - Microsoft^(R) Windows^(R) 8 Operating System
 - Microsoft^(R) Windows^(R) 10 Operating System
 - Microsoft^(R) Windows^(R) 11 Operating System
- その他、記載の会社名、及び製品名は各社の商標または登録商標です。

—その他—

- 本機の仕様や外観、内部のソフトウェア（ファームウェア）については、改良のため予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容については、将来予告無く変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り・記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡下さい。

1 はじめに

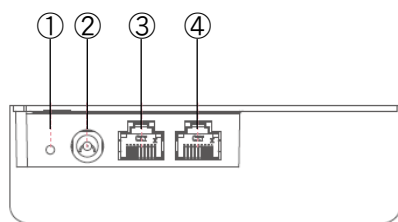
1.1 製品の特長

本機は IPv4 over IPv6 通信に対応した無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
本機は以下のような特長があります。

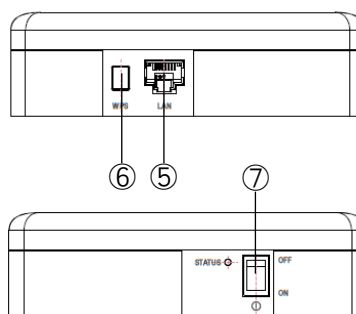
- IPv4 over IPv6 対応（株式会社朝日ネットが提供する v6 コネクトに対応）
- 無線 LAN アンテナ内蔵のコンパクト設計
- PoE 対応（WAN 側ポート受電および背面 LAN 側ポートパススルー給電対応）

1.2 各部の名称と機能

本機背面ポート部

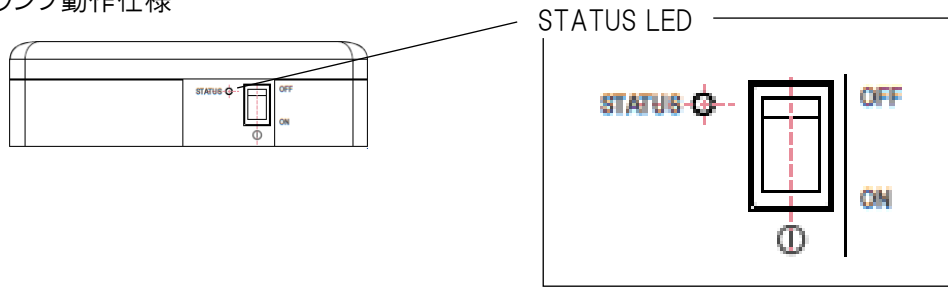


本機側面



番号	名称	機能
①	リセットスイッチホール	本機の設定を工場出荷値に戻す場合、本機の電源が ON の状態で、細い棒等で本ボタンを 10 秒以上長押しして下さい。全 LED が 2～3 秒点灯した後に初期化が始まります。
②	DC IN	電源アダプタを接続する差込口です。
③	WAN(IN)	有線 WAN ポートです。(PoE IN(受電) に対応)
④	LAN(OUT)	背面の有線 LAN ポートです。(PoE OUT (給電) に対応)
⑤	LAN	側面の有線 LAN ポートです。
⑥	WPS ボタン	WPS-PBC による無線 LAN 設定の際に使用します。
⑦	電源スイッチ	電源の ON/OFF をします。

LED ランプ動作仕様

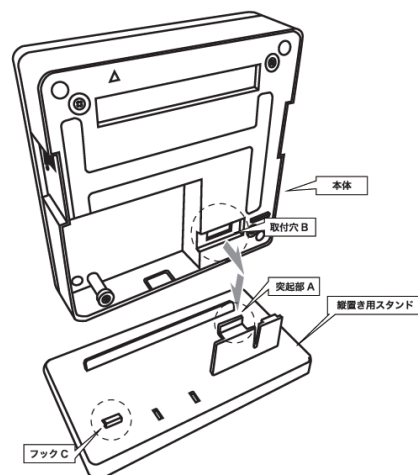


色	状態	内容	Wi-Fi 動作	WAN 接続	FGN3.0 接続
—	消灯	本機に電力が供給されていない	—	—	—
	点灯	本機に電力が供給されている			
白色	点灯	Wi-Fi 無効/IPv4 にて正常動作 または、電源投入直後の状態	無効	IPv4 接続	—
	点滅				
水色	点灯	Wi-Fi 無効/IPv6 にて正常動作	無効	IPv6 接続	—
	点滅				
青色	点灯	Wi-Fi 有効/IPv4 にて正常動作 FGN3.0 正常動作	有効	IPv4 接続	接続
	点滅	(高速点滅)WPS 設定中 (低速点滅)WPS 設定成功			
緑色	点灯	Wi-Fi 有効/IPv6 にて正常動作 FGN3.0 正常動作	有効	IPv6 接続	接続
	点滅	(高速点滅)WPS 設定中 (低速点滅)WPS 設定成功			
紫色	点灯	Wi-Fi 有効/IPv4 にて正常動作 FGN3.0 接続不具合・未設定	有効	IPv4 接続	切断
	点滅	(高速点滅)WPS 設定中 (低速点滅)WPS 設定成功			
黄色	点灯	Wi-Fi 有効/IPv6 にて正常動作 FGN3.0 接続不具合・未設定	有効	IPv6 接続	切断
	点滅	(高速点滅)WPS 設定中 (低速点滅)WPS 設定成功			
赤色	点灯	インターネット未接続状態	—	WAN 切断	—
	点滅	(低速点滅)WPS 設定失敗			

1.3 設置方法

① 縦置きで設置する場合

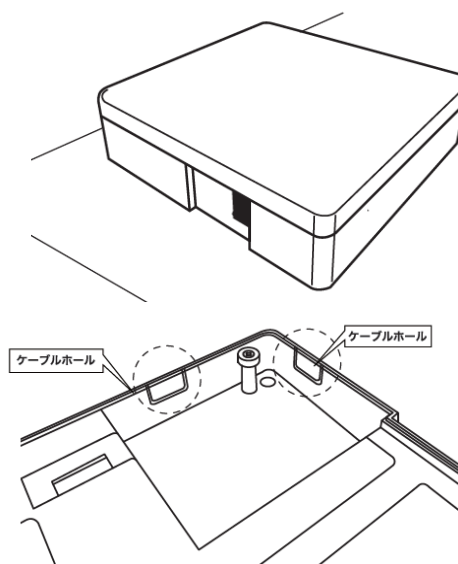
同梱の縦置き用スタンドの突起部 A を、本体背面部の取付穴 B に、差し込むように挿入します。斜め方向に入れ、垂直になるように押し込むことで、スムーズに取り付けできます。フック C で本機が固定されていることを確認してください。



② 横置きで設置する場合

机上等に本機をそのまま横置きします。

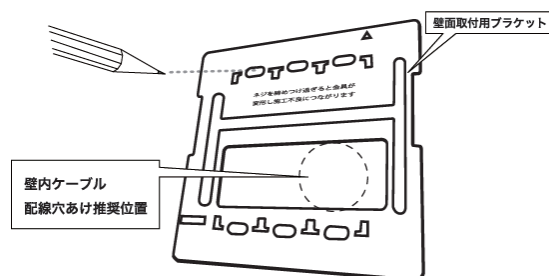
LAN ケーブルや AC ケーブルを繋ぐために、右記筐体側面樹脂部をカッターやニッパーなどで切除することで、ケーブルを側面に出して、配線することができます。



③ 壁面等に固定する場合

(1) 壁面への取り付け準備

取り付け場所に壁面取付用ブラケットを当てて、ネジ穴の場所に印をつけます。一旦ブラケットを取り除き、印をつけた箇所にドリル等で穴をあけてください。また、壁内からケーブルを配線する場合は、ブラケット開口部に、壁面の穴を開けケーブルを通してください。壁内の1連または2連スイッチボックスを利用して、壁面取付用ブラケットをネジで固定することもできます。

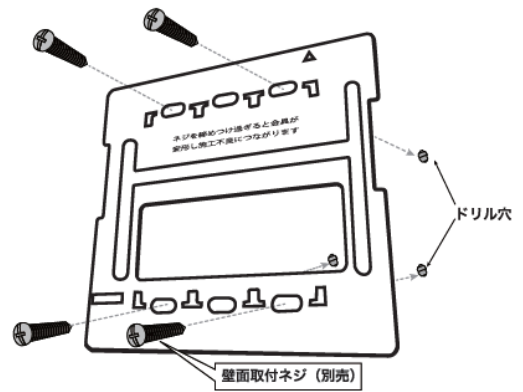


※位置決めの際、板金の注意書きが読める向きで壁面に固定します

※ネジを締めつけ過ぎると金具が変形し施工不良に繋がります

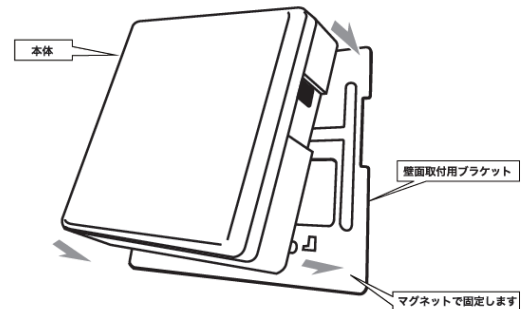
(2) ブラケットの取り付け

壁面取付用ブラケットの寸法の合うネジを準備し、壁面に固定します。



(3) 本体の取り付け

壁面取付用ブラケットの位置合わせマーク△が、合うように取り付けます。マグネットにより磁力で固定できます。



1.4 配線方法

① LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルを用いて、本機を接続します。

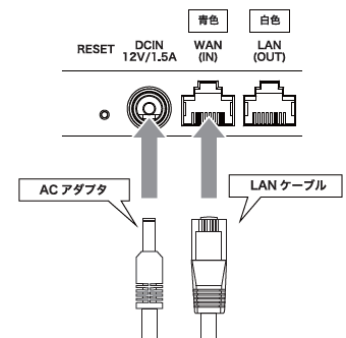
LAN ケーブルのコネクタを本機の WAN(IN)ポート(青色ラベル)に差し込んでください。

② 電源の供給

(1) AC アダプタによる電源供給

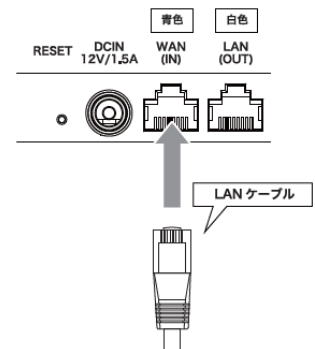
同梱の AC アダプタを本機の DC INコネクタに接続してください。

その後、ACアダプタの電源プラグをコンセントに接続してください。



(2) PoE 機器による電源供給

PoE給電機器に接続された LANケーブルを本機の WAN(IN)ポート (青色ラベル)に差し込んでください。



2 Web 設定について

2.1 Web GUI へのアクセス方法

- ② 本機背面の LAN ポートと設定用 PC を LAN ケーブル(RJ-45)で接続して下さい。
- ③ 設定用 PC の IP アドレスを下記のように自動取得にし、DHCP を取得しているか確認してください。



- ④ PC でブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.150.1/」を入力して下さい。



- ④ 下記のようにユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを半角英数字で入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。



【ユーザー名】 admin

【パスワード】 admin

ログイン後は、初期パスワードを変更してください。

(7.11 ユーザー・パスワード設定を参照)

初期パスワード変更まで、UI 上に以下の警告文が表示されます。

⚠ セキュリティ強化のため、初期パスワードを変更しましょう。

- ④ 本機の設定画面(トップ画面/状態表示画面)が表示されます。



2.1.1 GUIにアクセス出来ない場合の確認事項

下記を確認して下さい。

- PCと本機背面のLANポートが、RJ-45ケーブルで正しく接続されているか確認して下さい。
- PCと接続しているLANポート側のLINK/ACTランプが点灯/点滅していることを確認して下さい。
- PCが本機からのDHCPアドレス「192.168.150.30～192.168.150.209の範囲(初期値)」を取得できているか確認して下さい。

2.2 各設定ボタン動作について

設定時に利用するボタンの動作について説明いたします。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="text" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/> 終了 <input type="text" value="192.168.150.254"/> <input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="240"/> (15-10080分)
ホスト名	<input type="text"/>
802.1d Spanning Tree	<input type="text" value="無効"/>

ボタン名称	内容
[キャンセル]	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]	入力・変更した値を保存します。 実動作へ反映する為には、[保存して再起動]を行う必要があります。
[保存して再起動]	入力・変更した値を保存した上で、再起動を実施します。 設定変更値は再起動完了後より、実動作へ反映します。

3 状態表示

本機の動作状態を表示します。

左のメニューリストから「状態表示」を選択します。

The screenshot shows the '状態表示' (Status Display) page in the Fibergate Inc. management interface. The page includes a navigation menu on the left and several data panels:

- システム・リダイレクト情報** (System/Redirect Information):

システム情報	
システム起動時間	3 hours, 9 mins, 36 secs
ファームウェア種別	fgn1700
ファームウェアバージョン	V3.0.7
ビルド時刻	Jan 27 08:58:16 UTC 2023
CPUロードアベレージ	0.01 0.04 0.00 (過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	1/79 (現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:246376 Used:82672 Free:163704 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	13 最大:16384
- WAN設定情報** (WAN Settings):

WANポート (IPv4)	
接続モード	DHCPクライアント
IPv4アドレス	192.168.0.12
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
MACアドレス	98:2D:BA:74:02:35
WANポート (IPv6)	
接続モード	無効
IPv6アドレス	
IPv6デフォルトゲートウェイ	
MACアドレス	98:2D:BA:74:02:35
- 無線LAN設定情報** (Wireless LAN Settings):

無線LAN (5 GHz/ルーターSSD)	
無線LAN設定	有効
周波数	5GHz (A+N+AC+AX)
SSID	WiFiNex
チャンネル番号	36
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:74:02:38
- LAN設定情報** (LAN Settings):

LANポート (グループ)	
所属インタフェース	LAN1, LAN2, VLAN0, VLAN0_VAP1, VLAN0_VAP2, VLAN0_VAP3, VLAN1, VLAN1_VAP1, VLAN1_VAP2, VLAN1_VAP3
VLAN ID	10, 10, 2, 2, 2, 10, 2, 2
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効

■ システム情報

システム・リダイレクト情報	
システム情報	
システム起動時間	3 hours, 9 mins, 36 secs
ファームウェア種別	fgn1700
ファームウェアバージョン	V3.0.7
ビルド時刻	Jan 27 08:58:16 UTC 2023
CPUロードアベレージ	0.01 0.04 0.00 (過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	1/79 (現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:246376 Used:82672 Free:163704 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	13 最大:16384

項目	内容
システム起動時間	本機が起動してからの経過時間を表示します。
ファームウェア種別	本機種種のファームウェアの種別を表示します。(fgn1700)
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
ビルド時刻	ファームウェアの作成時刻を表示します。
CPUロードアベレージ	過去1分/5分/15分間のCPU負荷とI/O使用率の指標を表示します。
プロセス数	現在、実行されているプロセス数とプロセス総数を表示します。
メモリ使用率	総メモリ容量(Total)、使用中メモリ容量(Used)、空きメモリ容量(Free)を表示します。
NAPTセッション数	現在、使用されているNAPTセッション数(IPアドレス変換処理数)を表示します。

■ リダイレクトサーバ設定

リダイレクトサーバ設定	
UnitName	XXXXXXXXXX
サーバURL	http://www.example.com
サーバ接続状態	接続
HTTPSリダイレクト設定	有効
iOS Captive Portal設定	有効
リダイレクトグループ	REDIRECT3 REDIRECT4
シンプルリダイレクトグループ	
リダイレクト無効グループ	
リダイレクト未設定グループ	REDIRECT1 REDIRECT2 REDIRECT5 REDIRECT6
リモートアップデート	無効
スケジュール再起動	無効

項目	内容
UnitName	本機の UnitName を表示します。
サーバ URL	接続先リダイレクトサーバの URL を表示します。
サーバ接続状態	本機とリダイレクトサーバとの接続状態を表示します。
HTTPS リダイレクト設定	HTTPS リダイレクト設定の動作(無効/有効)を表示します。
iOS Captive Portal 設定	iOS Captive Portal 設定の動作(無効/有効)を表示します。
リダイレクトグループ	リダイレクト設定が ON のグループを表示します。
シンプルリダイレクトグループ	シンプルリダイレクトが ON のグループを表示します。
リダイレクト無効グループ	リダイレクト動作が無効になっているグループを表示します。
リダイレクト未設定グループ	リダイレクト設定が OFF になっているグループを表示します。
リモートアップデート	リモートアップデート機能の動作(無効/有効・設定日時)を表示します。
スケジュール再起動	スケジュール再起動の動作(無効/有効・設定日時)を表示します。

■ 無線 LAN(5GHz)ルート SSID

無線LAN (5 GHz)ルートSSID	
無線LAN設定	有効
周波数	5GHz (A+N+AC+AX)
SSID	WiFiNet
チャンネル番号	36
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:74:02:3B
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
周波数	無線 LAN の周波数を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1~4

無線LAN (5 GHz)マルチSSID1	
無線LAN設定	有効
SSID	WiFiNet_3
セキュリティ	WPA/WPA2 Mixed
BSSID	98:2D:BA:74:02:3C
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID

無線LAN (2.4 GHz)ルートSSID	
無線LAN設定	有効
周波数	2.4GHz (B+G+N+AX)
SSID	WiFiNet
チャンネル番号	11
セキュリティ	無効
BSSID	98:2D:BA:74:02:36
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
周波数	無線 LAN の周波数を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ 無線 LAN(2.4GHz)マルチ SSID1~4

無線LAN (2.4 GHz)マルチSSID1	
無線LAN設定	有効
SSID	WiFiNet_01
セキュリティ	WPAWPA2 Mixed
BSSID	98:2D:BA:74:02:37
接続中のクライアント数	0

項目	内容
無線 LAN 設定	無線 LAN 機能の動作(無効/有効)を表示します。
SSID	無線 LAN の SSID を表示します。
セキュリティ	無線 LAN のセキュリティ(暗号化等)を表示します。
BSSID	無線 LAN インタフェースの BSSID(MAC アドレス)を表示します。
接続中のクライアント数	無線 LAN インタフェースに接続中のクライアント数を表示します。

■ WAN ポート(IPv4)

DHCP クライアントモード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	DHCPクライアント
IPv4アドレス	192.168.10.36
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

IP アドレス固定モード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	IPアドレス固定設定 接続中
IPv4アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

PPPoE クライアントモード時の表示

WANポート (IPv4)	
接続モード	PPPoE 接続中
IPv4アドレス	192.168.10.100
サブネットマスク	255.255.255.255
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.10.100
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

項目	内容
接続モード	WAN 側の IPv4 接続モードを表示します。
IPv4 アドレス	WAN 側の IPv4 アドレスを表示します。
サブネットマスク	WAN 側のサブネットマスクを表示します。
IPv4 デフォルトゲートウェイ	WAN 側のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

■ WAN ポート(IPv6) v6 コネクトモード時の表示

WANポート (IPv6)	
接続モード	v6 コネクト 接続中
アクティベーション状態	完了
IPv6アドレス - IPoE	2408:8100:a00:2007::baff:fe5d:451/64
IPv6アドレス - v6 コネクト	2001:8001::9d6b:2a56:0/128
IPv6 デフォルトゲートウェイ	fe00::2001::fe19:a4c6
MACアドレス	98:2D:BA:5D:04:51

項目	内容
接続モード	WAN 側の IPv6 接続モードを表示します。
アクティベーション状態	未完了 :v6 コネクトの設定情報の取得が完了していない状態。
	完了 :v6 コネクトの設定情報の取得が完了している状態。
	手動設定 :v6 コネクトの設定情報を手動設定している状態。
	エラー :v6 コネクトの設定情報の取得に失敗している状態。
IPv6 アドレス-IPoE	WAN 側の IPoE で接続している IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 アドレス-v6 コネクト	WAN 側の v6 コネクトで接続している IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 デフォルトゲートウェイ	WAN 側の IPv6 デフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

■ LAN ポート

LANポート (グループ0)	
所属インタフェース	LAN1, LAN2, WLAN0, WLAN0_VAP1, WLAN0_VAP2, WLAN0_VAP3, LAN1, WLAN1_VAP1, WLAN1_VAP2, WLAN1_VAP3
VLAN ID	10, 10, 10, 2, 2, 2, 10, 2, 2, 2
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	98:2D:BA:74:02:34

項目	内容
所属インタフェース	各グループに所属している LAN インタフェースを表示します。
VLAN ID	VLAN ID を表示します。
LAN IP アドレス	LAN 側の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	LAN 側のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	DHCP サーバーの動作(無効/有効)を表示します。
MAC アドレス	LAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

4 動作モード

本機の動作モードの設定を行います。

左のメニューリストから「動作モード」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバークエート

FGN1700設定項目

- 状態表示
- 動作モード**
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- システム管理
- 再起動
- ログアウト

動作モード設定

本機の動作モードを設定します。

ルーター
本機をルーターとして利用します。
NAPT (IPアドレス変換) 機能が有効となります。
プロバイダへの接続設定は「ネットワーク設定」の「WAN設定」で行って下さい。

アクセスポイント
本機を無線LANアクセスポイントとして利用します。
NAPT (IPアドレス変換) 機能など、ルーター機能が無効となります。
WANポート、LANポートともにHUBとして動作します。

キャンセル 保存して再起動

項目	内容
ルーター	ルーターとして動作します。
アクセスポイント	アクセスポイントとして動作します。ルーター機能は無効となります。

各動作モード時に有効となる機能一覧になります。

機能	ルーターモード	アクセスポイントモード
状態表示機能	○	○
動作モード設定機能	○	○
ネットワーク設定		
LAN 設定機能	○	○
WAN 設定機能	○	×
VLAN 設定機能	○	○
有線 LAN ポート設定機能	○	○
IPv4 ファイアウォール設定		
MAC フィルタリング機能	○	×
ルーター宛フィルタリング機能	○	○
ルーター通過フィルタリング機能	○	×
ポートマッピング機能	○	×
無線 LAN 設定		
無線 LAN (5GHz) 設定機能	○	○※1
無線 LAN (2.4GHz) 設定機能	○	○※1
システム管理		
パケット送受量 統計表示機能	○	○
システムモニタ機能	○	○
時刻情報設定機能	○	○
Dos 検知・防御設定機能	○	×
ネットワークユーティリティ機能	○	○
システムログ機能	○	○
ファームウェアバージョンアップ機能	○	○
設定保存・読み込み・初期化機能	○	○
ローカル再起動時刻機能	×	○

※1:無線 LAN の送受信速度制限機能は、ルーターモード時のみ利用可能です。

5 ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

5.1 LAN 設定

本機の LAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「LAN 設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1700設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - LAN設定**
 - WAN設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定
- IPv4ファイアウォール設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="text" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/> 終了 <input type="text" value="192.168.150.254"/> <input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="240"/> (15-10080 分)
ホスト名	<input type="text"/>
802.1d Spanning Tree	<input type="text" value="無効"/>

項目	内容
IP アドレス	本機の LAN 側の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本機の LAN 側のサブネットマスクを設定します。
DHCP サーバー設定	
DHCP サーバー	本機の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与 IP アドレス範囲	前項において「有効」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレスの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
固定 IP アドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ホスト名	付与するホスト名を設定します。
802.1d Spanning Tree	802.1d Spanning Tree の動作(無効/有効)を選択します。

5.1.1 DHCP サーバーのクライアント表示

DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
前項画面の「LAN 設定」内の「クライアント表示」ボタンをクリックします。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="button" value="有効 ▼"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/> 終了 <input type="text" value="192.168.150.254"/>
	<input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="240"/> (15-10080 分)
ホスト名	<input type="text"/>
802.1d Spanning Tree	<input type="button" value="無効 ▼"/>



接続中のDHCPクライアント

本機のDHCPサーバーからIPアドレスを取得したDHCPクライアントの情報を表示します。

ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	リース期限残	クライアントOS
PC1329N	54:E1:AD:05:61:3A	192.168.150.30	03h : 59m : 38s	

項目	内容
ホスト名	クライアントに設定されているホスト名を表示します。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	クライアントが DHCP サーバーから取得した IP アドレスを表示します。
リース期限残	DHCP リース期限の残り時間を表示します。
クライアント OS	クライアントの OS が表示されます。※1

※1:クライアント側の仕様により OS が表示されない場合があります

5.1.2 固定 IP アドレス付与設定

クライアントの MAC アドレス情報によって、常に同じ IP アドレス(固定 IP アドレス)を付与するための設定を行います。

前項画面の「LAN 設定」内の「固定 IP アドレス付与設定」ボタンをクリックします。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス: 192.168.150.1
 サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCPサーバー設定

DHCPサーバー: 有効 ▼
 付与IPアドレス範囲: 先頭 192.168.150.30 終了 192.168.150.254

リース期限: 240 (15-10080 分)
 ホスト名:

802.1d Spanning Tree: 無効 ▼

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与設定

本機のDHCPサーバーが特定の端末に対して、常に同じIPアドレスを付与するための設定を行います。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与を有効にする

IPアドレス:
 MACアドレス: (入力形式: xxxxxxxxxxxx)
 コメント:

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与リスト (20エントリーまで登録可能)

リスト	IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
<input type="button" value="選択したエントリーを削除"/>	<input type="button" value="全て削除"/>			

項目	内容
DHCP サーバー固定 IP アドレス付与を有効にする	固定 IP アドレス付与を有効にする場合にチェックを入れます。
IP アドレス	付与する IP アドレスを設定します。
MAC アドレス	固定 IP アドレスを付与する対象 MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)

【設定】

IP アドレス、MAC アドレス、コメント入力後、「保存」ボタンをクリックすると、リストへ登録されます。設定と同時に反映する場合は、「保存して再起動」ボタンをクリックします。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与設定

本機のDHCPサーバーが特定の端末に対して、常に同じIPアドレスを付与するための設定を行います。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与を有効にする

IPアドレス: 192.168.150.31
 MACアドレス: 00:00:5e:00:53:00 (入力形式: xxxxxxxxxxxx)
 コメント: example1

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与リスト (20エントリーまで登録可能)

リスト	IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
1	192.168.150.31	00:00:5e:00:53:00	example1	<input type="checkbox"/>

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与設定

本機のDHCPサーバーが特定の端末に対して、常に同じIPアドレスを付与するための設定を行います。

本ページで設定が変更されました。
 変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与を有効にする

IPアドレス:
 MACアドレス: (入力形式: xxxxxxxxxxxx)
 コメント:

DHCPサーバー 固定IPアドレス付与リスト (20エントリーまで登録可能)

リスト	IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
<input type="button" value="選択したエントリーを削除"/>	<input type="button" value="全て削除"/>			

5.2 WAN 設定

本製品の WAN ポート側に接続する回線・ネットワークを設定します。
左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「WAN 設定」を選択します。

- IPv4 WAN 設定（DHCP クライアントモード時の表示）

The screenshot shows the 'IPv4 WAN設定' (IPv4 WAN Settings) page. The left sidebar contains a navigation menu with 'IPv4設定' (IPv4 Settings) selected. The main content area has the title 'IPv4 WAN設定' and a sub-header 'WAN側接続モードの設定を行います。' (Configure WAN connection mode). Below this is a note: 'プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。' (Please confirm the contract details with the provider and configure accordingly). The configuration options are as follows:

WAN接続モード	DHCPクライアント
ホスト名	
MTU Size	1492 (1400-1500 bytes)
DNS自動取得	<input checked="" type="radio"/>
DNS固定設定	<input type="radio"/>
プライマリーDNS	
セカンダリーDNS	
UPnPを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
IGMP Proxyを有効にする	<input type="checkbox"/>
WAN側からのPingに応答を返す	<input type="checkbox"/>
WAN側から設定画面へのログオンを許可する	<input type="checkbox"/>
L2TPパススルーを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
IPSecパススルーを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
PPTPパススルーを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>

Buttons at the bottom: キャンセル (Cancel), 保存 (Save), 保存して再起動 (Save and Restart).

- IPv6 WAN 設定（v6 コネクトモード時の表示）

The screenshot shows the 'IPv6 WAN設定' (IPv6 WAN Settings) page. The left sidebar contains a navigation menu with 'IPv6設定' (IPv6 Settings) selected. The main content area has the title 'IPv6 WAN設定' and a sub-header 'WAN側接続モードの設定を行います。' (Configure WAN connection mode). Below this is a note: 'プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。' (Please confirm the contract details with the provider and configure accordingly). The configuration options are as follows:

WAN接続モード	v6 コネクト
プロビジョニング	<input checked="" type="radio"/>
手動設定モード	<input type="radio"/>
トンネルID	
センタ側のエンドポイントのIPv6アドレス	
クライアント側エンドポイントのIPv6アドレス・インタフェースID	
クライアント側のグローバルIPv4アドレス	
アドレス変更通知に使用する通知キー	
アドレス変更通知に使用する通知パスワード	

Buttons at the bottom: キャンセル (Cancel), 保存 (Save), 保存して再起動 (Save and Restart).

5.2.1 IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント

「WAN 接続モード」で「DHCP クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード DHCPクライアント ▼

ホスト名

MTU Size (1400-1500 bytes)

DNS自動取得
 DNS固定設定

プライマリーDNS

セカンダリーDNS

UPnPを有効にする
 IGMP Proxyを有効にする
 WAN側からのPingに応答を返す
 WAN側から設定画面へのログオンを許可する

L2TPパススルーを有効にする
 IPsecパススルーを有効にする
 PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「DHCP クライアント」を選択します。
ホスト名	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境において、ホスト名の設定が必要な場合にのみ設定します。
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.2 IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント

「WAN 接続モード」で「PPPoE クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード PPPoEクライアント ▾

ユーザー名

パスワード

パスワード (再入力)

MTU Size (1360-1492 bytes)

DNS自動取得

DNS固定設定

プライマリDNS

セカンダリDNS

UPnPを有効にする

IGMP Proxyを有効にする

WAN側からのPingに応答を返す

WAN側から設定画面へのログオンを許可する

L2TPパススルーを有効にする

IPsecパススルーを有効にする

PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「PPPoE クライアント」を選択します。
ユーザー名	プロバイダとの契約資料を参照して設定します。
パスワード	
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存LANの環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリDNS」「セカンダリDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。

※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.3 IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定

「WAN 接続モード」で「IP アドレス固定」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード IPアドレス固定 ▼

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

MTU Size (1400-1500 bytes)

プライマリーDNS

セカンダリーDNS

UPnPを有効にする

IGMP Proxyを有効にする

WAN側からのPingに応答を返す

WAN側から設定画面へのログオンを許可する

L2TPパススルーを有効にする

IPsecパススルーを有効にする

PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「IP アドレス固定」を選択します。
IP アドレス	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

5.2.4 IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト

「WAN 接続モード」で「v6 コネクト」を選択します。

IPv6 WAN設定

WAN接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード v6 コネクト ▼

プロビジョニング
 手動設定モード

トンネルID

センタ側のエンドポイントのIPv6アドレス

クライアント側エンドポイントのIPv6アドレス・インタフェースID

クライアント側のグローバルIPv4アドレス

アドレス変更通知に使用する通知キー

アドレス変更通知に使用する通知パスワード

項目	内容
WAN 接続モード	「v6 コネクト」を選択します。 ※1
プロビジョニング	プロビジョニングを有効にする場合に選択します。
手動設定モード	手動設定を有効にする場合に選択します。
トンネル ID	v6 コネクトサービス提供プロバイダとの契約資料を参照して設定します。
センタ側のエンドポイントの IPv6 アドレス	
クライアント側エンドポイントの IPv6 アドレス・インタフェース ID	
クライアント側のグローバル IPv4 アドレス	
アドレス変換通知に使用する通知キー	
アドレス変換通知に使用する通知パスワード	

※1: IPv6 設定にて v6 コネクトを設定する場合、事前に IPv4 設定にて DHCP クライアント(初期値)に設定しておく必要があります。

5.2.5 IPv6 設定 WAN 接続モード IPoE:RA type

「WAN 接続モード」で「IPoE:RA type」を選択します。

IPv6 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード

項目	内容
WAN 接続モード	「IPoE:RA type」を選択します。※1

※1:IPv6 設定にて lpoE:RA type を設定する場合、併せてIPv4 設定も行う必要があります。

5.2.6 IPv6 設定 WAN 接続モード 無効

「WAN 接続モード」で「無効」を選択します。

IPv6 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード

項目	内容
WAN 接続モード	「無効」を選択します。※1

※1:IPv6 のWANモードを利用しない場合は、必ず「無効」を選択して下さい。

5.3 VLAN 設定

本機の VLAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

項目	内容
VLAN を有効にする	VLAN を有効にする場合にチェックを入れます。※1
VLAN ID・IP グループ設定	
インタフェース	各物理インタフェースを表示します。
種類	各物理インタフェースの種類を表示します。
Tag	対象インタフェースの Tag を有効にする場合にチェックを入れます。
VLAN ID	対象インタフェースの VLAN ID を設定します。
VLAN IP グループ	対象インタフェースの VLAN IP グループを設定します。
VLAN IP 設定	
グループ	VLAN IP 設定対象のグループを表示します。
VLAN IP	対象グループの VLAN IP を有効にする場合にチェックを入れます。
IP アドレス	対象グループの VLAN IP の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	対象グループの VLAN IP のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	対象グループの DHCP サーバーの動作(無効/有効)を表示します。
詳細設定	対象グループの VLAN IP の設定を行う場合に、ボタンをクリックします。

※1: VLAN を有効状態から無効へ変更する場合、VLAN の設定値は初期値に戻りますので注意して下さい。

5.3.1 VLAN IP 設定

各 VLAN IP グループに対する IP アドレス等の設定を行います。

VLAN IP グループは、グループ 0～3 まで設定できます。グループ 0 の VLAN IP は常に有効で IP アドレス等の情報は LAN 設定の値を利用します。

前項画面の「VLAN 設定」で VLAN を有効にするにチェックを入れた後、グループ 1 の VLAN IP にチェックを入れ [IP 設定] のボタンをクリックします。

The image shows two screenshots from a network configuration tool. The left screenshot shows the 'VLAN IP 設定' (VLAN IP Settings) page. At the top, there is a checkbox 'VLANを有効にする' (Enable VLAN) which is checked. Below it is a table listing various network interfaces and their assigned VLAN IDs and groups. The right screenshot shows the 'グループ1IP設定' (Group 1 IP Settings) page. It contains fields for 'グループ1IPアドレス' (192.168.160.1), 'グループ1サブネットマスク' (255.255.255.0), and 'グループ1DHCPサーバー設定'. Under DHCP settings, 'DHCPサーバー' is set to '無効' (Invalid), and the '付与IPアドレス範囲' (IP address range) is set from 192.168.160.30 to 192.168.160.254. The 'リース期限' (Lease time) is 240 minutes. A red arrow points from the 'IP設定' button in the left screenshot to the 'グループ1IP設定' page in the right screenshot.

項目	内容
グループ 1 IP アドレス	グループ 1 の IP アドレスを設定します。
グループ 1 サブネットマスク	グループ 1 のサブネットマスクを設定します。
グループ 1 DHCP サーバー設定	
DHCP サーバー	グループ 1 の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与 IP アドレス範囲	前項において「サーバー」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレスの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
固定 IP アドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ドメイン名	付与するホスト名を設定します。
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	入力・変更した値を保存します。 実動作へ反映する為には、再起動を行う必要があります。
[閉じる]ボタン	設定画面を閉じます。

5.4 有線 LAN ポート設定

本機の有線 LAN ポートの設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「有線 LAN ポート設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1700設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WAN設定
 - IPv4設定
 - IPv6設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定
 - IPv4ファイアウォール設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

有線LANポート設定

各有線ポートの動作設定、状態を表示します。

電源をOFFにすることで対象ポートを無効にすることができます。(WANはOFFにすることができません)

有線LANポート	通信レート	電源	POE out	リンク	速度
LAN	Auto	ON	----	LinkUp	1000M
LAN(OUT)	Auto	ON	ON	LinkDown	-
WAN	Auto	ON	----	LinkUp	1000M

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
有線 LAN ポート	LAN、LAN(OUT)、WAN ポートを表示します。
通信レート	各ポートの通信レートを選択します。
・ Auto	自動的に通信レートを識別します。
・ 10Base-Half-duplex	10Base 半二重通信 (固定)
・ 10Base-Full-duplex	10Base 全二重通信 (固定)
・ 100Base- Half-duplex	100Base 半二重通信 (固定)
・ 100Base- Full-duplex	100Base 全二重通信 (固定)
・ 1000Base- Full-duplex	1000Base 全二重通信 (固定)
電源	LAN ポートの有効・無効状態を表示します。 ※1
POE out	LAN(OUT)の PoE 給電の設定を表示します。
リンク	各ポートのリンク状態(LinkUp/LinkDown)を表示します。
速度	各ポートの通信レートを表示します。

※1:「OFF」設定のポートは通信を行うことができません。WAN ポートは「OFF」設定にすることはできません。

5.5 IPv4 ファイアウォール設定

本機の IPv4 ファイアウォール設定を行います。

5.5.1 MAC フィルタリング設定

LAN 側に接続する特定の端末について MAC アドレスをもとに WAN 側への接続を禁止する設定を行います。左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「MAC フィルタリング設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバゲート

FGN1700設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WAN設定
 - IPv4設定
 - IPv6設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定
 - IPv4ファイアウォール設定
 - MACフィルタリング設定**
 - ルーター宛フィルタリング設定
 - ルーター通過フィルタリング設定
 - ポートマッピング設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

MACフィルタリング設定

登録したMACアドレスのWAN（インターネット）側への通信を禁止します。

MACフィルタリングを有効にする

MACアドレス (入力形式 xxxxxx:xxxxxx:xxxxxx)

コメント

MACフィルタリング登録リスト (20エントリまで登録可能)

No.	MACアドレス	コメント
-----	---------	------

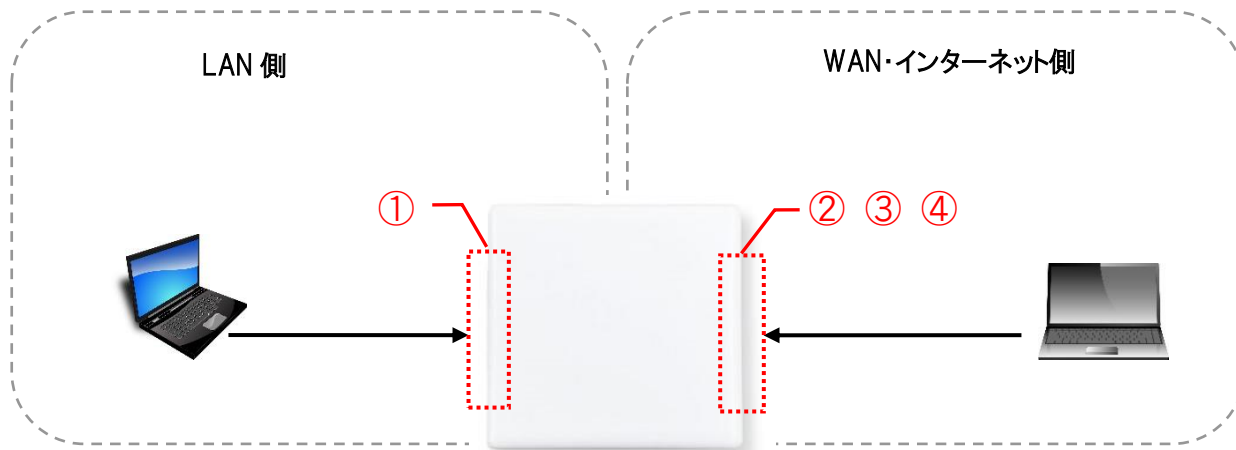
項目	内容
MAC アドレスフィルタリングを有効にする	MAC フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
MAC アドレス	通信を禁止する MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※1
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※2
MAC フィルタリング登録リスト	
[選択したエントリを削除]ボタン	チェックを入れたエントリを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリを削除します。

※1: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※2: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.2 ルーター宛フィルタリング設定

本機(ルーター)宛の packets に対する受信パケットフィルタリングの設定を行います。
対象の受信インタフェースは下記①～④になります。



■ 対象受信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0~3)	② PPPoE ③ WAN (DHCP クライアント・IP 固定) ④ v6 コネクト

注意事項

フィルタリングリストに登録されていないパケットは、LAN 側から本機宛への通信は許可となります。
インターネット側(WAN を含む)から本機宛への通信は全て破棄となります。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター宛フィルタリング設定」を選択します。

項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「LAN:グループ0～3」「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。 ※1
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。 ※2
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※3
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※4
ルーター宛フィルタリング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

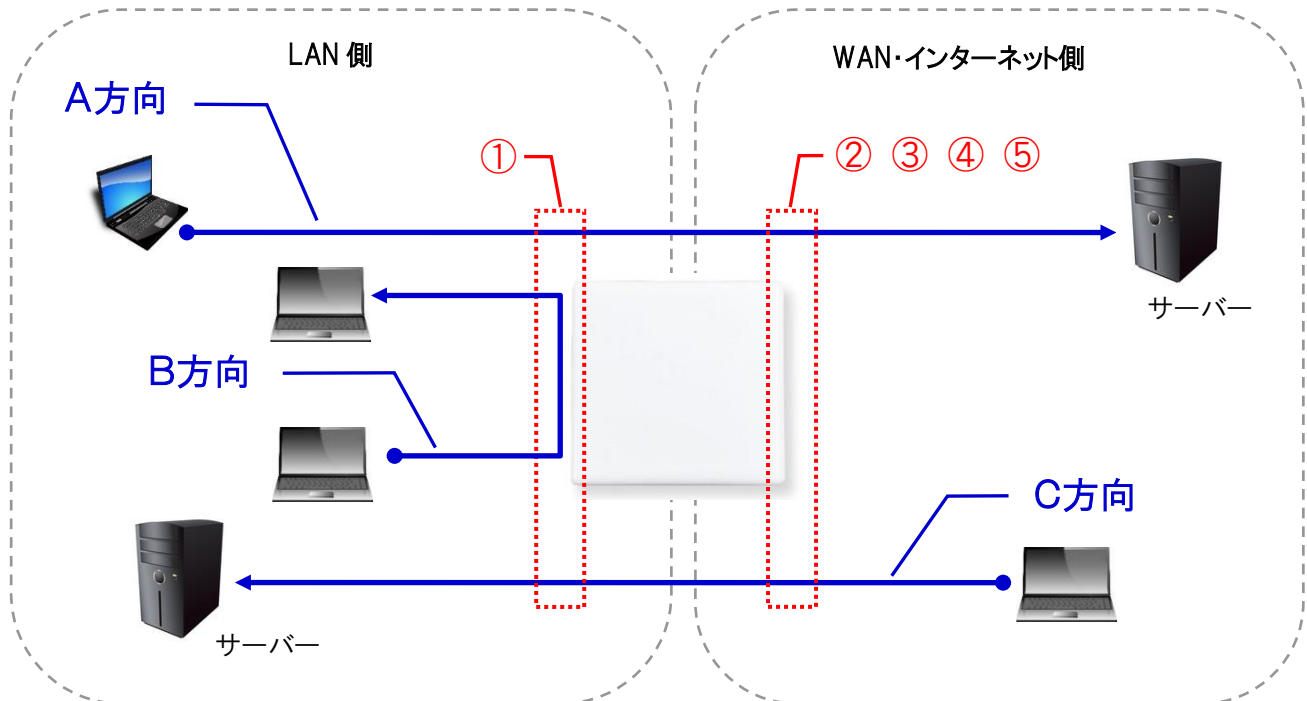
※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5.5.3 ルーター通過フィルタリング設定

本機(ルーター)を通過するパケットに対するフィルタリングを行います。対象となる受信・送信インタフェースは下記①～⑤になります。また、インタフェースに対するパケット通過の方向例を A～C で示します。



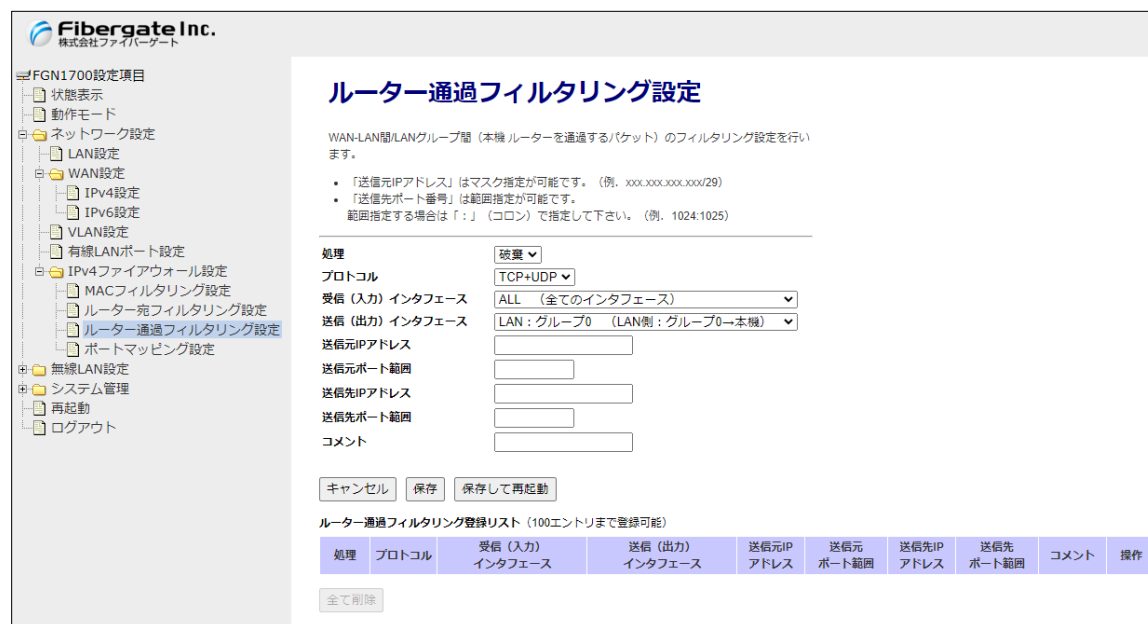
■ 対象受信・送信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0～3)	② PPPoE ③ WAN (DHCP クライアント・IP 固定) ④ v6 コネクト ⑤ ALL (全てのインタフェースが対象)

■ 対象パケット通信方向

パケットの方向	受信(入力)インタフェース	送信(出力)インタフェース
A方向	LAN (グループ 0～3)	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL
B方向	LAN (グループ 0～3)	LAN (グループ 0～3)
C方向	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL	LAN (グループ 0～3)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター通過フィルタリング設定」を選択します。



項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「ALL(全てのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6コネクト」から選択します。
送信(出力)インタフェース	「ALL(全てのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。※1
送信元ポート範囲	送信元ポート番号を設定します。※2
送信先 IP アドレス	送信先 IP アドレスを設定します。※1
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。※2
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※3
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※4
ルーター通過フィルタリング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

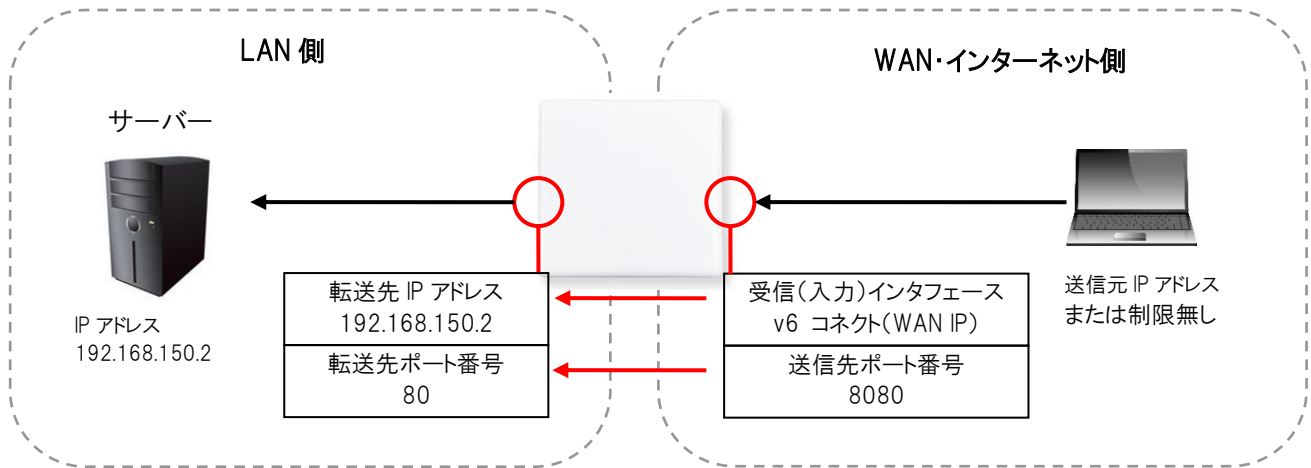
※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

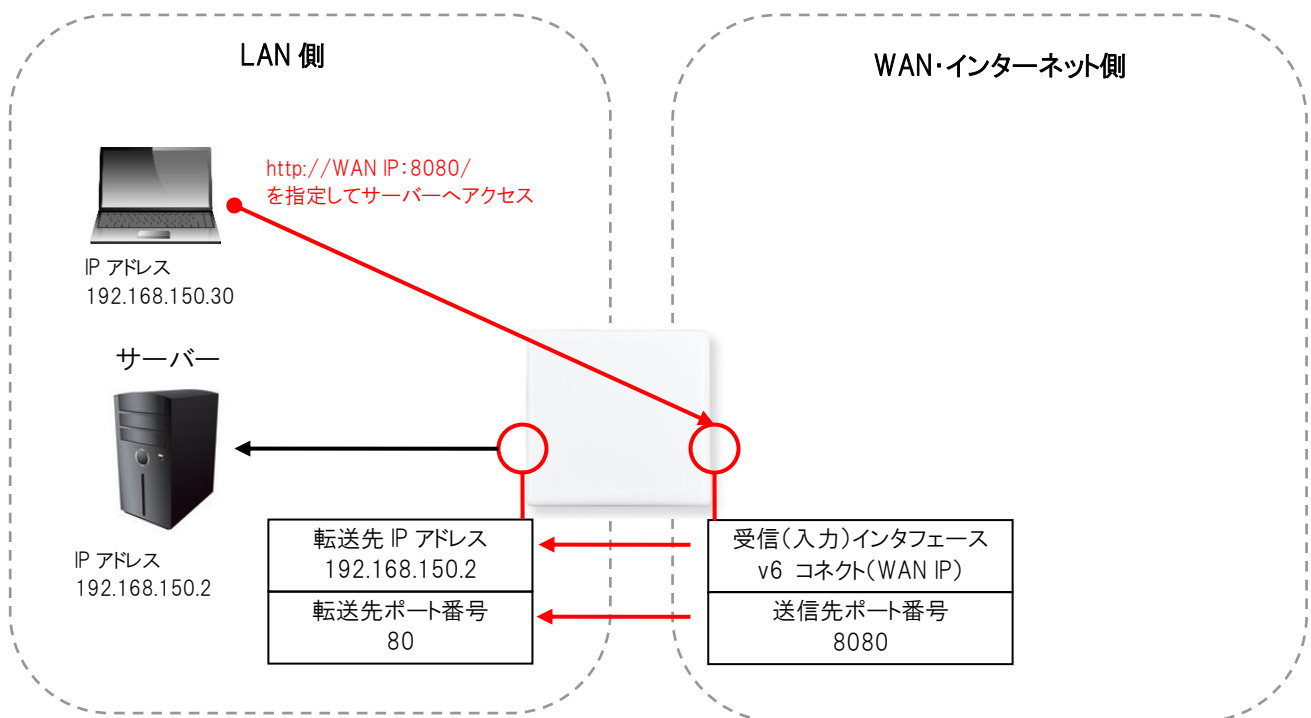
5.5.4 ポートマッピング設定

「ポートマッピング設定」では、WAN(インターネット)側から本機のWAN側IPアドレス・ポート宛の接続要求を、LAN側IPアドレス・ポートへ転送するための設定を行います。



● ヘアピンNAT

ヘアピンNATを有効にした場合、LAN側の端末は、同一ネットワーク内に存在するポートマッピング先の機器に対して、本機が取得しているWAN側のIPと設定した送信先ポート番号を指定することでアクセスすることができます。



左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ポートマッピング設定」を選択します。



項目	内容
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」「ALL」から選択します。
送信元 IP アドレス	WAN側からアクセスする送信元 IP アドレスを設定します。※1
送信先ポート番号	WAN側からアクセスする際のポート番号を設定します。※2
転送先IPアドレス	転送先のLAN側IPアドレスを設定します。
転送(変換)先ポート番号	転送先の接続ポート番号を設定します。
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。(任意)
ヘアピンNATを有効にする	ヘアピンNAT機能を有効にする場合にチェックを入れます。
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※3
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※4
ポートマッピング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6 無線 LAN 設定

本機の無線 LAN 設定を行います。

6.1 無線 LAN(5GHz)

無線 LAN(5GHz)の設定を行います。

6.1.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)」→「基本設定」を選択します。

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れます。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
・ 5GHz(a+n+ac+ax)	IEEE802.11a/n/ac/ax で通信を行います。
・ 5GHz(a+n+ac)	IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
・ 5GHz(n+ac)	IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
・ 5GHz(a+n)	IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
・ 5GHz(n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
・ 5GHz(a)	IEEE802.11a でのみ通信を行います。
チャンネル幅	周波数の帯域幅を選択します。
・ 20MHz	20MHz の帯域幅で通信を行います。
・ 40MHz	40MHz の帯域幅で通信を行います。
・ 80MHz	80MHz の帯域幅で通信を行います。

拡張チャンネル	周波数 5GHz の帯域では「自動」のみの動作になります。
チャンネル選択範囲	チャンネルの選択範囲を設定します。
・ ALL	全てのチャンネルが選択の対象になります。
・ W52	W52(36,40,44,48)のチャンネルが選択対象になります。 DFS 機能の動作を避ける場合は、当該チャンネル範囲を設定します。
・ W56	W56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144)のチャンネルが選択対象になります。DFS 機能が動作した場合も、W56 のチャンネルから選択します。屋外で利用する場合は、当該チャンネル範囲を設定します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
使用状況表示	サイトサーベイを行い、本機の周りに存在する AP を一覧表示します。
オートチャンネルセレクト	動作中のオートチャンネルに関する設定を行います。
通信中のチャンネル変更可	通信中でもチャンネル変更動作を行いたい場合はチェックします。
使用チャンネル	オートチャンネルのセレクト対象を表示します。
対象チャンネル設定	オートチャンネルのセレクト対象を設定します。
チャンネル更新間隔	オートチャンネルの更新間隔を設定します。(1H-48H)
ルート SSID 設定	
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。
マルチ SSID 設定	マルチ SSID 設定画面を表示します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.1.2 マルチ SSID 設定

無線 LAN 5GHz のマルチ SSID の設定を行います。

前項画面の「基本設定」→「マルチ SSID 設定」ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数 5 GHz (a+n+ac+ax)

チャンネル幅 20MHz

チャンネル選択範囲 ALL

チャンネル番号 自動(DFS) 使用状況表示

オートチャンネルセレクト 無効 チャンネル番号が自動の時に使用可能

通信中のチャンネル変更可

使用チャンネル 対象チャンネル設定

チャンネル更新周期 1H

ルートSSID設定

ルートSSID WIFINex

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID 有効

帯域（伝送速度） 自動

送信速度制限 (Mbps) 0 Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps) 0 Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント 表示

マルチSSID設定 マルチSSID設定



無線LAN 5GHz マルチSSID設定

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域（伝送速度）	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax)	WIFINex_5	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax)	WIFINex_5	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID3	<input type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax)	WIFINex_5	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID4	<input type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax)	WIFINex_5	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示

キャンセル
保存
保存して再起動

項目	内容
有効	チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
・ 5GHz(a+n+ac+ax)	IEEE802.11a/n/ac/ax で通信を行います。
・ 5GHz(a+n+ac)	IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
・ 5GHz(n+ac)	IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
・ 5GHz(a+n)	IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
・ 5GHz(n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
・ 5GHz(a)	IEEE802.11a でのみ通信を行います。
マルチ SSID	各マルチ SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	ルート SSID に接続する無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。

ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(マルチ SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(マルチ SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.1.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。
 ルート SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数: 5GHz (a+n+ac+ax) ▼

チャンネル幅: 20MHz ▼

チャンネル幅詳細: ALL ▼

チャンネル番号: 自動(DFS) ▼ 使用状況表示

オートチャンネルセレクト: 無効 ▼ チャンネル番号が目的の時に使用可能

通信中のチャンネル変更許可:

優先チャンネル:

チャンネル変更詳細: 1H ▼

ルートSSID: WIFINex

無線クライアント接続制限:

ブロードキャストSSID: 有効 ▼

帯域 (伝送速度): 自動 ▼

送信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 無制限)

受信速度制限 (Mbps): 0 Mbps (0: 無制限)

接続無線クライアント: **表示**

マルチSSID設定: マルチSSID設定

無線LAN 5GHz ルートSSID 接続クライアント表示

無線LAN 5GHz ルートSSIDに接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:00	11ax	20M	209	134	57KB	26KB	286	-42	Excellent	00:00:08

再読み込み 閉じる

マルチ SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 5GHz マルチSSID設定

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント接続制限	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax) ▼	WIFINex	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax) ▼	170_171_172	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	
SSID3	<input type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax) ▼	170_171_172	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	
SSID4	<input type="checkbox"/>	5GHz(a+n+ac+ax) ▼	170_171_172	<input type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	0	0	

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 5GHz マルチSSID1接続クライアント表示

無線LAN 5GHz マルチSSID1に接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:00	11ax	20M	8	26	1KB	6KB	1	-42	Excellent	00:00:09

再読み込み 閉じる

項目	内容
MAC アドレス	無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
周波数	無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
チャンネル幅	無線 LAN クライアントのチャンネル幅を表示します。
送信パケット数	無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
受信パケット数	無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
送信バイト数	無線 LAN クライアントの送信バイト数を表示します。
受信バイト数	無線 LAN クライアントの受信バイト数を表示します。
速度 (Mbps)	無線 LAN クライアントの送信速度を表示します。
RSSI (dBm)	無線 LAN クライアントの RSSI 値を表示します。
電波強度	無線 LAN クライアントの電波強度を表示します。
接続時間 (秒)	無線 LAN クライアントの接続時間を表示します。

6.1.3 セキュリティ設定

無線 LAN 5GHz のセキュリティ設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「セキュリティ設定」を選択します。



項目	内容
設定を行う SSID	セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。
・ 無効	暗号モードを無効にします。
・ WEP	暗号モードを「WEP」に設定します。
・ WPA	暗号モードを「WPA」に設定します。
・ WPA2	暗号モードを「WPA2」に設定します。
・ WPA3	暗号モードを「WPA3」に設定します。
・ WPA/WPA2-Mixed	暗号モードを「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。
・ WPA2/WPA3-Mixed	暗号モードを「WPA2」「WPA3」混在させる場合に設定します。

6.1.3.1 暗号モード WEP

暗号モード「WEP」を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID ルート-WiFiLAN ▼

暗号モード WEP ▼

認証方式
 オープンシステム
 共有キー
 自動

暗号キーの長さ 128-bit ▼

暗号キーのフォーマット 16進数(Hex) (半角英数字26文字) ▼

暗号キー

キャンセル
保存
保存して再起動

項目	内容
認証方式	WEP の認証方式を選択します。
・ オープンシステム	オープンシステム(Open System)認証を行います。
・ 共有キー	共有キー(Shared Key)認証を行います。
・ 自動	接続相手に応じて、オープンシステム認証か共有キー認証のどちらか片方を行います。
暗号キーの長さ	暗号化キーの長さを選択します。
・ 64bit	文字列で 5 文字(半角英数字/記号)、16 進数で 10 文字(半角 0~9、半角 a~f)の暗号キーを設定できます。 ※記号「-」(ハイフン)「_」(アンダースコア)のみ設定可能
・ 128bit	文字列で 13 文字(半角英数字/記号)、16 進数で 26 文字(半角 0~9、半角 a~f)の暗号キーを設定できます。 ※記号「-」(ハイフン)「_」(アンダースコア)のみ設定可能
暗号キーのフォーマット	暗号キーの形式を選択します。
・ 文字列(ASCII)	暗号キーを文字列で設定します。
・ 16 進数(Hex)	暗号キーを 16 進数で設定します。
暗号キー	暗号キーを設定します。「暗号キーの長さ」、「暗号キーのフォーマット」に合わせて任意の暗号キーを設定します。

6.1.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (事前共有キー)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA3」「WPA/WPA2-Mixed」「WPA2/WPA3-Mixed」と認証方式で事前共有キーを選択した場合の設定を行います。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID	<input type="text" value="ルート-WiFiLAN"/>
暗号モード	<input type="text" value="WPA2/WPA3-Mixed"/>
認証方式	<input type="radio"/> Radiusサーバー <input checked="" type="radio"/> 事前共有キー
WPA暗号化方式	<input type="radio"/> TKIP <input checked="" type="radio"/> AES <input type="radio"/> TKIP/AES
事前共有キーのフォーマット	<input type="text" value="文字列 (ASCII) (半角英数字8-63文字)"/>
事前共有キー	<input type="text"/>

項目	内容
WPA 暗号化方式	暗号化方式を選択します。
・ TKIP	一定時間毎にキーを更新し、通信の確認・認証を行います。 1 つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可能です。
・ AES	TKIP よりも高度な暗号を用います。
・ TKIP/AES	接続相手に応じて、TKIP・AES を用います。
事前共有キーのフォーマット	事前共有キーの形式を選択します。
・ 文字列(ASCII)	文字列で8～63文字(半角英数字/記号)の共有キーを設定できます。 ※設定可能な記号は「10.3 入力・登録制限値一覧」を参照してください
・ 16進数(Hex)	16進数で64文字(半角0～9、半角a～f)の共有キーを設定できます。 ※1
事前共有キー	「事前共有キーのフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定します。

※1: WPA3 および WPA2/WPA3-Mixed の暗号モードでは 16 進数は選択できません。

6.1.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (RADIUS 認証)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA3」、「WPA/WPA2-Mixed」と認証方式で RADIUS 認証を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 5GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 RADIUSサーバー 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

RADIUSサーバーのIPアドレス

RADIUSサーバーのポート番号

RADIUSサーバーのパスワード

項目	内容
RADIUS サーバーの IP アドレス	RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
RADIUS サーバーのポート番号	RADIUS サーバーのポート番号を設定します。
RADIUS サーバーのパスワード	RADIUS サーバーのパスワードを設定します。

6.1.4 拡張設定

無線 LAN 5GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「拡張設定」を選択します。

項目	内容
フラグメントしきい値	フラグメント(分割)するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、設定値のサイズにフラグメントして送信します。
RTSしきい値	RTS(Request To Send・送信要求)信号を送信するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、RTS 信号を送信します。
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。ビーコン間隔を小さくすると、無線 LAN クライアントとの接続効率は上がりますが、通信効率は下がります。
プロテクション	無線 LAN クライアントとの通信に RTS/CTS フロー制御を行う場合、有効に設定します。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と、帯域増加のための送信を有効化します。
Short GI	Short GI(Short Guard Interval)を設定します。Short GIを使用することでデータ通信の効率を上げることができますが、反射波の影響を受けやすくなり、データ通信全体のスループットに影響を与える場合があります。
送信出力	無線の送信出力を設定します。

6.1.5 アクセス制御設定

無線 LAN 5GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「アクセス制御設定」を選択します。

項目	内容
無線 LAN アクセス制御モード	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選択します。
・ 無効	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによる制御を行いません。
・ 登録した MAC アドレスアクセス許可	無線 LAN 接続を許可するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。※1
・ 登録した MAC アドレスアクセス拒否	無線 LAN 接続を拒否するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。※1
MAC アドレス	無線 LAN アクセス制御を行うクライアントの MAC アドレスを設定します。 (入力形式はコロン:付になります。例 xx:xx:xx:xx:xx:xx)
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※2
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※3
MAC アドレス登録リスト	
[選択したエントリーを削除]ボタン	チェックボックスで選択したエントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: 設定動作はアクセス許可・拒否のいずれか一方の動作になります。アクセス許可と拒否を同時に設定することはできません。

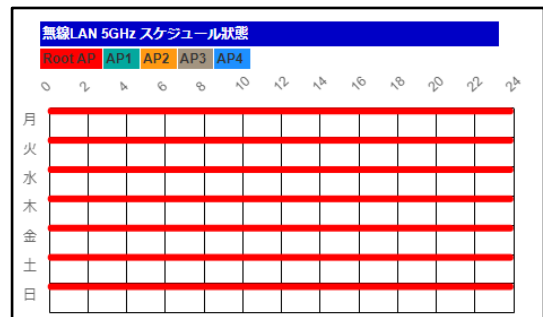
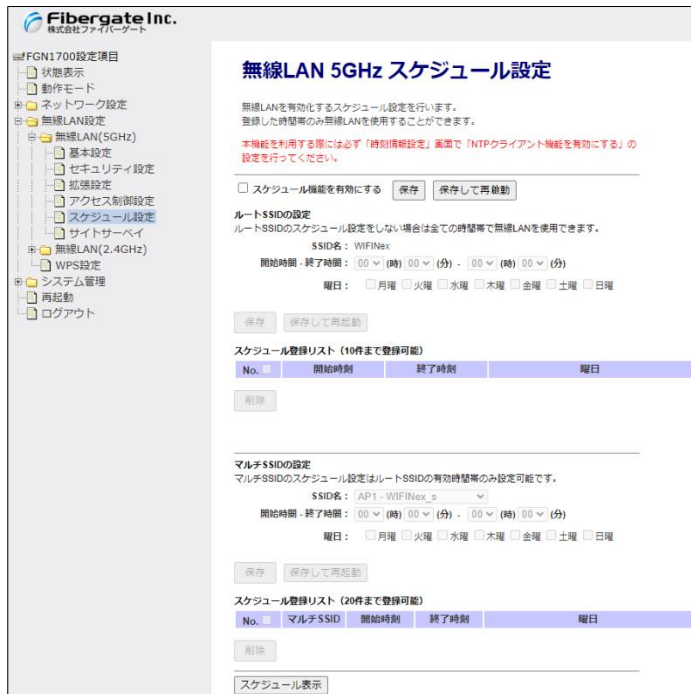
※2: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.1.6 スケジュール設定

無線 LAN 5GHz のスケジュール設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「スケジュール設定」を選択します。ルート SSID とマルチ SSID それぞれに対して、スケジュールを設定できます。



項目	内容
スケジュール機能を有効にする	スケジュール機能を有効にする場合にチェックを入れます。 ※1
有効	チェックを入れると該当行のスケジュールが有効になります。
曜日	無線 LAN を有効化する曜日を選択します。
開始時刻	開始時刻(時)(分)を選択します。
終了時刻	終了時刻(時)(分)を選択します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※2
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※3
[スケジュール表示]ボタン	登録されたスケジュールを、グラフィカルにテーブルにて表示します。
スケジュール登録リスト	
[削除]ボタン	チェックを付けたエントリを削除します。

※1:本機能の利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で、「NTP クライアント」を有効にする」の設定を行ってください。

※2:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.1.7 サイトサーベイ

周辺の無線 LAN 5GHz のアクセスポイントの状況を表示します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (5GHz)」→「サイトサーベイ」を選択します。

画面内の〔再読み込み〕ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線 LAN アクセスポイントの状況が表示されます。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバークエート

FGN1700設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
 - 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 基本設定
 - セキュリティ設定
 - 拡張設定
 - アクセス制御設定
 - スケジュール設定
 - サイトサーベイ
 - 無線LAN(2.4GHz)
 - WPS設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

無線LAN 5GHz サイトサーベイ

他の無線LANアクセスポイントの状況を表示します。

再読み込み

SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
(再読み込みをクリック)						

無線LAN 5GHz サイトサーベイ

他の無線LANアクセスポイントの状況を表示します。

再読み込み

SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
WiFiNet_1	c8:9e:01:58:05:7a	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-46	Excellent
	c8:9e:01:58:05:88	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-46	Excellent
POSS	ac:44:02:0e:05:19	36 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA2-PSK	-47	Excellent
WiFiNet	c8:9e:01:58:05:88	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-47	Excellent
CMPTEST_03	c8:9e:01:58:01:3e	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-52	Good
	c8:9e:01:58:41:92	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-52	Good
WiFiNet_1	c8:9e:01:58:41:3f	40 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-53	Good
	c8:9e:01:58:02:08	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-69	Good
WiFiNet_1	c8:9e:01:58:0c:00	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-71	Good
-G0R4GG0	c8:9e:01:58:0c:02	44 (a/n/ac)	アクセスポイント	無効	-71	Good

6.2 無線 LAN(2.4GHz)

無線 LAN(2.4GHz)の設定を行います。

6.2.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れます。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
・ 2.4GHz (b+g+n+ax)	IEEE802.11b/g/n/ax で通信を行います。
・ 2.4GHz (b+g+n)	IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
・ 2.4GHz (g+n)	IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
・ 2.4GHz (b+g)	IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
・ 2.4GHz (n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
・ 2.4GHz (g)	IEEE802.11g でのみ通信を行います。
・ 2.4GHz (b)	IEEE802.11b でのみ通信を行います。
拡張チャンネル	IEEE802.11n の拡張チャンネルを選択します。 IEEE802.11n を含む周波数で、チャンネル幅を「40MHz」を設定した場合に選択できます。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。

ルート SSID 設定	
使用状況表示	サイトサーベイを行い、本機の周りに存在する AP を一覧表示します。
オートチャンネルセレクト	動作中のオートチャンネルに関する設定を行います。
通信中のチャンネル変更可	通信中でもチャンネル変更動作を行いたい場合はチェックします。
使用チャンネル	オートチャンネルのセレクト対象を表示します。
対象チャンネル設定	オートチャンネルのセレクト対象を設定します。
チャンネル更新間隔	オートチャンネルの更新間隔を設定します。(1H-48H)
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	ルート SSID に接続する無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インタフェース(ルート SSID)と WAN インタフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	ルート SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。
マルチ SSID 設定	マルチ SSID 設定画面を表示します。

※1:送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(ルート SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.2.2 マルチ SSID 設定

無線 LAN 2.4GHz のマルチ SSID の設定を行います。

前項画面の「基本設定」→「マルチ SSID 設定」ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数 ▼

チャンネル幅 ▼

拡張チャンネル ▼

チャンネル番号

オートチャンネルセレクト ▼ チャンネル番号が自動の時に使用可能

通信中のチャンネル変更可

使用チャンネル

チャンネル更新周期 ▼

ルートSSID設定

ルートSSID

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID ▼

帯域（伝送速度） ▼

送信速度制限 (Mbps) Mbps (0:制限無し)

受信速度制限 (Mbps) Mbps (0:制限無し)

接続無線クライアント

マルチSSID設定



無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域（伝送速度）	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4GHz(b+g+n+ax) ▼	<input type="text" value="WIFI Nex_01"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>
SSID2	<input type="checkbox"/>	2.4GHz(b+g+n+ax) ▼	<input type="text" value="WIFI Nex_02"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>
SSID3	<input type="checkbox"/>	2.4GHz(b+g+n+ax) ▼	<input type="text" value="WIFI Nex_03"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>
SSID4	<input type="checkbox"/>	2.4GHz(b+g+n+ax) ▼	<input type="text" value="WIFI Nex_04"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	有効 ▼	Auto ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="button" value="表示"/>

項目	内容
有効	チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
周波数	無線 LAN で使用する周波数を選択します。
• 2.4GHz (b+g+n+ax)	IEEE802.11b/g/n/ax で通信を行います。
• 2.4GHz (b+g+n)	IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
• 2.4GHz (g+n)	IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
• 2.4GHz (b+g)	IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
• 2.4GHz (n)	IEEE802.11n でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (g)	IEEE802.11g でのみ通信を行います。
• 2.4GHz (b)	IEEE802.11b でのみ通信を行います。
マルチ SSID	各マルチ SSID を設定します。
無線クライアント間通信遮断	無線クライアント間の通信を遮断する場合にチェックを入れます。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。

帯域(伝送速度)	無線 LAN の伝送速度を選択します。
送信速度制限(Mbps)	無線インターフェース(マルチ SSID)と WAN インターフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 送信速度は、本機ルート SSID からの接続クライアントへの速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
受信速度制限(Mbps)	無線インターフェース(マルチ SSID)と WAN インターフェース間の通信速度の制限値を設定します。※1 受信速度は、接続クライアントから本機ルート SSID への速度が対象になります。0 を設定した場合は制限なしとして動作します。
接続無線クライアント	各マルチ SSID に接続している無線 LAN クライアントの情報を設定します。

※1: 送信・受信速度制限の設定は、ルーターモード時のみ利用可能です。

また、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)と有線 LAN 間の通信、無線 LAN インターフェース(マルチ SSID)間の通信は、制御の対象外のため利用できません。

6.2.2.1 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。
 ルート SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

周波数: 2.4GHz (b/g/n/ax)

チャンネル幅: 20MHz

チャンネル番号: 11ax

チャンネル番号: 自動

オートチャンネルセレクト: チャンネル番号が自動で選択されます。

通信中のチャンネル変更: チャンネル番号が自動で変更されます。

ルートSSID設定

無線クライアント接続制限:

プロトキャストSSID: 有効

帯域 (伝送速度): 自動

送信速度制限 (Mbps): 0 (0:制限無し)

受信速度制限 (Mbps): 0 (0:制限無し)

接続無線クライアント: **表示**

マルチSSID設定: マルチSSID設定

無線LAN 2.4GHz ルートSSID 接続クライアント表示

無線LAN 2.4GHz ルートSSIDに接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:02	11ax	20M	258	148	60KB	40KB	34	-43	Excellent	00:00:03

再読み込み 閉じる

マルチ SSID 接続クライアントは「基本設定」→〔マルチ SSID 設定〕→〔表示〕ボタンをクリックします。

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	無線クライアント接続制限	プロトキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4GHz (b/g/n/ax)	無線LAN 2.4GHz	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID2	<input type="checkbox"/>	2.4GHz (b/g/n/ax)	無線LAN 2.4GHz	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	
SSID3	<input type="checkbox"/>	2.4GHz (b/g/n/ax)	無線LAN 2.4GHz	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	
SSID4	<input type="checkbox"/>	2.4GHz (b/g/n/ax)	無線LAN 2.4GHz	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz マルチSSID1接続クライアント表示

無線LAN 2.4GHz マルチSSID1に接続されている無線LANクライアントを表示します。

MACアドレス	周波数	チャンネル幅	送信パケット数	受信パケット数	送信バイト数	受信バイト数	速度 (Mbps)	RSSI (dBm)	電波強度	接続時間 (秒)
08:00:27:00:00:02	11ax	20M	9	28	1KB	6KB	1	-49	Excellent	00:00:12

再読み込み 閉じる

項目	内容
MAC アドレス	無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
周波数	無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
チャンネル幅	無線 LAN クライアントのチャンネル幅を表示します。
送信パケット数	無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
受信パケット数	無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
送信バイト数	無線 LAN クライアントの送信バイト数を表示します。
受信バイト数	無線 LAN クライアントの受信バイト数を表示します。
速度 (Mbps)	無線 LAN クライアントの送信速度を表示します。
RSSI (dBm)	無線 LAN クライアントの RSSI 値を表示します。
電波強度	無線 LAN クライアントの電波強度を表示します。
接続時間 (秒)	無線 LAN クライアントの接続時間を表示します。

6.2.3 セキュリティ設定

無線 LAN 2.4GHz のマルチ SSID の設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「セキュリティ設定」を選択します。



項目	内容
設定を行う SSID	セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。
・ 無効	暗号モードを無効にします。
・ WEP	暗号モードを「WEP」に設定します。
・ WPA	暗号モードを「WPA」に設定します。
・ WPA2	暗号モードを「WPA2」に設定します。
・ WPA3	暗号モードを「WPA3」に設定します。
・ WPA／WPA2-Mixed	暗号モードを「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。
・ WPA2／WPA3-Mixed	暗号モードを「WPA2」「WPA3」混在させる場合に設定します。

6.2.3.1 暗号モード WEP

暗号モード「WEP」を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID ルート-WiFiLAN

暗号モード WEP

認証方式
 オープンシステム
 共有キー
 自動

暗号キーの長さ 128-bit

暗号キーのフォーマット 16進数(Hex) (半角英数字26文字)

暗号キー

項目	内容
認証方式	WEP の認証方式を選択します。
・ オープンシステム	オープンシステム(Open System)認証を行います。
・ 共有キー	共有キー(Shared Key)認証を行います。
・ 自動	接続相手に応じて、オープンシステム認証か共有キー認証のどちらか片方を行います。
暗号キーの長さ	暗号化キーの長さを選択します。
・ 64bit	文字列で 5 文字(半角英数字/記号)、16 進数で 10 文字(半角 0~9、半角 a~f)の暗号キーを設定できます。 ※記号「-」(ハイフン)「_」(アンダースコア)のみ設定可能
・ 128bit	文字列で 13 文字(半角英数字/記号)、16 進数で 26 文字(半角 0~9、半角 a~f)の暗号キーを設定できます。 ※記号「-」(ハイフン)「_」(アンダースコア)のみ設定可能
暗号キーのフォーマット	暗号キーの形式を選択します。
・ 文字列(ASCII)	暗号キーを文字列で設定します。
・ 16 進数(Hex)	暗号キーを 16 進数で設定します。
暗号キー	暗号キーを設定します。「暗号キーの長さ」、「暗号キーのフォーマット」に合わせて任意の暗号キーを設定します。

6.2.3.2 暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (事前共有キー)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA3」、「WPA/WPA2-Mixed」、「WPA2/WPA3-Mixed」と認証方式で事前共有キーを選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 Radiusサーバー 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

事前共有キーのフォーマット

事前共有キー

項目	内容
WPA 暗号化方式	暗号化方式を選択します。
• TKIP	一定時間毎にキーを更新し、通信の確認・認証を行います。 1つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可能です。
• AES	TKIP よりも高度な暗号を用います。
• TKIP/AES	接続相手に応じて、TKIP・AES を用います。
事前共有キーのフォーマット	事前共有キーの形式を選択します。
• 文字列(ASCII)	文字列で8～63文字(半角英数字/記号)の共有キーを設定できます。 ※設定可能な記号は「10.3 入力・登録制限値一覧」を参照してください
• 16進数(Hex)	16進数で64文字(半角0～9、半角a～f)の共有キーを設定できます。 ※1
事前共有キー	「事前共有キーのフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定します。

※1:WPA3 および WPA2/WPA3-Mixed の暗号モードでは 16 進数は選択できません。

6.2.3.3 暗号モード WPA/WPA2/WPA3/Mixed (RADIUS 認証)

暗号モードで「WPA」、「WPA2」、「WPA3」、「WPA/WPA2-Mixed」と認証方式で RADIUS 認証を選択した場合の設定を行います。

無線LAN 2.4GHz セキュリティ設定

WEPやWPA、WPA2の設定など、無線LANのセキュリティ設定を行います。

設定を行うSSID

暗号モード

認証方式 RADIUSサーバー 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

RADIUSサーバーのIPアドレス

RADIUSサーバーのポート番号

RADIUSサーバーのパスワード

項目	内容
RADIUS サーバーの IP アドレス	RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。
RADIUS サーバーのポート番号	RADIUS サーバーのポート番号を設定します。
RADIUS サーバーのパスワード	RADIUS サーバーのパスワードを設定します。

6.2.4 拡張設定

無線 LAN 2.4GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「拡張設定」を選択します。

項目	内容
フラグメントしきい値	フラグメント(分割)するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、設定値のサイズにフラグメントして送信します。
RTSしきい値	RTS(Request To Send・送信要求)信号を送信するパケットサイズを設定します。設定値よりも大きなサイズのパケットを送信する場合、RTS 信号を送信します。
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。ビーコン間隔を小さくすると、無線 LAN クライアントとの接続効率は上がりますが、通信効率は下がります。
プリアンブルタイプ	「ロングプリアンブル」、「ショートプリアンブル」から選択します。 「ショートプリアンブル」を設定した場合、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、ショートプリアンブルに対応していない無線クライアントの場合、接続できない恐れがあります。
プロテクション	無線 LAN クライアントとの通信に RTS/CTS フロー制御を行う場合、有効に設定します。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と、帯域増加のための送信を有効化します。
Short GI	Short GI(Short Guard Interval)を設定します。Short GIを使用することでデータ通信の効率を上げることができますが、反射波の影響を受けやすくなり、データ通信全体のスループットに影響を与える場合があります。
送信出力	無線の送信出力を設定します。

6.2.5 アクセス制御設定

無線 LAN 2.4GHz の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「アクセス制御設定」を選択します。

項目	内容
無線 LAN アクセス制御モード	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選択します。
・ 無効	無線 LAN 接続クライアントの MAC アドレスによる制御を行いません。
・ 登録した MAC アドレスアクセス許可	無線 LAN 接続を許可するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。※1
・ 登録した MAC アドレスアクセス拒否	無線 LAN 接続を拒否するクライアントの MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。※1
MAC アドレス	無線 LAN アクセス制御を行うクライアントの MAC アドレスを設定します。 (入力形式はコロン:付になります。例 xx:xx:xx:xx:xx:xx)
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。※2
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。※3
MAC アドレス登録リスト	
[選択したエントリーを削除]ボタン	チェックボックスで選択したエントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: 設定動作はアクセス許可・拒否のいずれか一方の動作になります。アクセス許可と拒否を同時に設定することはできません。

※2: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.2.6 スケジュール設定

無線 LAN 2.4GHz のスケジュール設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「スケジュール設定」を選択します。

項目	内容
スケジュール機能を有効にする	スケジュール機能を有効にする場合にチェックを入れます。 ※1
有効	チェックを入れると該当行のスケジュールが有効になります。
曜日	無線 LAN を有効化する曜日を選択します。
開始時刻	開始時刻(時)(分)を選択します。
終了時刻	終了時刻(時)(分)を選択します。
[保存]ボタン	登録リストへ設定を保存します。 ※2
[保存して再起動]ボタン	登録リストへ設定を保存し再起動後に実動作へ反映します。 ※3
[スケジュール表示]ボタン	登録されたスケジュールを、グラフィカルにテーブルにて表示します。
スケジュール登録リスト	
[削除]ボタン	チェックを付けたエントリを削除します。

※1: 本機能の利用する場合は、必ず「時刻情報設定」画面で、「NTP クライアント」を有効にする」の設定を行ってください。

※2: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

6.2.7 サイトサーベイ

周辺の無線 LAN 2.4GHz のアクセスポイントの状況を表示します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN (2.4GHz)」→「サイトサーベイ」を選択します。

画面内の〔再読み込み〕ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線 LAN アクセスポイントの状況が表示されます。



無線LAN 2.4GHz サイトサーベイ

他の無線LANアクセスポイントの状況を表示します。

再読み込み

SSID	BSSID	チャンネル番号 周波数	動作モード	暗号モード	RSSI (dBm)	電波強度
+80000_surface	08:00:41:0d:8a:20	9 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-26	Excellent
net_2g_wifi_3	04:40:27:82:8a:28	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-32	Excellent
net_2g_wifi	04:40:27:82:8a:20	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-33	Excellent
net_2g_wifi_1	04:40:27:82:8a:20	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-33	Excellent
net_2g_wifi_2	04:40:27:82:8a:28	1 (b/g/n)	アクセスポイント	無効	-33	Excellent
WiFi_2e02_4	e8:8e:d1:50:85:50	7 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-37	Excellent
+ed00-p-04a_buochu01_2_40	c8:8e:d1:50:85:50	1 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA-PSK/WPA2-PSK	-38	Excellent
PC000	00:14:10:10:10:10	1 (b/g/n)	アクセスポイント	WPA2-PSK	-41	Excellent

6.3 WPS 設定

無線 LAN の WPS に関する設定を行います。

項目	内容
WPS	WPS 機能を有効にする場合に設定します。※1
WPS SSID	WPS 機能の対象 SSID を選択します。
AP PIN	WPS の PIN 設定で利用する場合の本機の PIN が表示されます。
WPS 接続	「PBC 接続」ボタンにより、UI 上からボタン押下操作を行えます。 ※本体側面の WPS ボタン操作と同等
WPS 状態表示	WPS の現在の状態が表示されます。

※1: WEP/WPA PSK/Radius を有効にした場合、WPS 設定は無効になります。

7 システム管理

本機の各種システム管理の設定を行います。

7.1 パケット送受信量 統計

各有線ポートのパケット送受信量を表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「パケット送受信量 統計」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1700設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
 - 無線LAN(5GHz)
 - 無線LAN(2.4GHz)
 - WPS設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計**
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定
 - ネットワークユーティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー名・パスワード設定
- 再起動
- ログアウト

パケット送受信量 統計

パケットの送受信量を表示します。

無線LAN(2.4GHz)ルートSSID	
受信パケット:	7167
受信バイト:	719712
送信パケット	1295
送信バイト:	940177

無線LAN(2.4GHz)マルチSSID	
受信パケット:	7832
受信バイト:	329600
送信パケット	10
送信バイト:	1610
有線LAN	
---	---
受信パケット:	3224
受信バイト:	725222
送信パケット	2539
送信バイト:	2639377
有線WAN	
---	---
受信パケット:	15116
受信バイト:	3183142
送信パケット	1299
送信バイト:	267320

再読み込み

項目	内容
[再読み込み]ボタン	統計情報を更新します。

7.2 システムモニタ

本機のシステム情報を監視します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムモニタ」を選択します。

The screenshot shows the 'システムモニタ' (System Monitor) page. On the left, a navigation menu lists various settings, with 'システムモニタ' highlighted. The main content area features four line graphs:

- 1分毎のCPUロードアベレージ:** Shows CPU load average over time. The y-axis ranges from 0 to 4,000. A green line starts at approximately 2,000, peaks slightly, and then drops to around 1,000. A red horizontal line is set at 2,000.
- 1分毎のメモリ使用率:** Shows memory usage percentage. The y-axis ranges from 0 to 100%. A green line is constant at approximately 40%. A red horizontal line is set at 40%.
- 1分毎のNAPTセッション数:** Shows the number of NAT sessions. The y-axis ranges from 0 to 20,000. A green line is constant at approximately 2,000. A red horizontal line is set at 20,000.
- 1分毎のWAN受信量:** Shows WAN received data in MByte. The y-axis ranges from 40 to 100. A green line is constant at approximately 40.

At the top of the main area, there is a checkbox labeled 'システム監視を有効にする' (Enable system monitoring), which is checked. Next to it is a '設定変更' (Change settings) button and a note: '※クリック直後より、設定内容が反映します' (Settings will be reflected immediately after clicking). Below the checkbox is a '再読み込み' (Refresh) button.

項目	内容
システム監視を有効にする	システム監視を有効にする場合にチェックを入れます。
〔設定変更〕ボタン	システム監視を適用します。適用時の再起動は不要です。
〔再読み込み〕ボタン	監視情報を更新します。

7.3 時刻情報設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「時刻情報設定」を選択します。



項目	内容
現在の時刻	本機が保持している時刻情報を表示します。
タイムゾーン	工場出荷値で(GMT+09:00)Japan,Korea が選択されています。 (通常、変更する必要はありません。)
NTPクライアントを有効にする	NTP のクライアントを有効にする場合にチェックを入れます。
NTP サーバー	参照するNTP サーバーを選択するか、NTP サーバーのアドレスを入力します。

7.4 DoS 検知・防御設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「Dos 検知・防御設定」を選択します。



項目	内容
Port Scan 検知・防御設定	Port Scan を検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。
SYN Flood 検知・防御設定	SYN Flood を検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。

7.5 ネットワークユーティリティ

本機からの ping や arp 等のコマンドを実行します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ネットワークユーティリティ」を選択します。

各コマンド欄に実行するコマンドを入力した後、[実行]ボタンをクリックします。



注意事項

arp コマンドおよび route コマンドは、コマンド内容を指定できません。

コマンドによっては応答に時間がかかる場合があります。応答があるまで他の WebGUI の操作はできません。

7.6 システムログ

本機のシステムログを表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムログ」を選択します。

項目	内容
ログをサーバーに送信する	チェックを入れると指定した IP アドレス先のサーバーへ等々ログを送信します。
送信先サーバーIP アドレス	ログを送信する先のサーバー等の IP アドレスを入力します。
[再読み込み]ボタン	システムログを更新します。
[消去]ボタン	表示されているシステムログを消去します。
[ダウンロード]ボタン	現在保存されているログを設定操作している端末にテキストファイル(拡張子.txt)として保存、取得することができます。

7.7 ファームウェアバージョンアップ

本機のファームウェアバージョンアップを行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「ファームウェアバージョンアップ」を選択します。



項目	内容
現在のバージョン	動作中のファームウェアバージョンを表示します。
ファイル選択	[ファイルを選択] ボタンをクリックすると、ファイルが選択できます。
[手動バージョンアップ開始] ボタン	選択したファームウェアを本機へ反映します。※1

※1: ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。

バージョンアップ中、再起動中に本機の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないで下さい。

【手順】

① [ファイルを選択] ボタンをクリック

② 対象ファイルをクリック

③ [開く] ボタンをクリック

④ [手動バージョンアップ開始] ボタンをクリック

バージョンアップ開始

再起動開始

本機の再起動を行います。

本機の電源を切らずに、そのままお待ち下さい。

あと 53 秒...

7.8 設定保存・読み込み・初期化

本機の設定をファイルに保存する、ファイルから設定を読み込む、設定を工場出荷値に戻すことができます。左のメニューリストから「システム管理」→「設定保存・読み込み・初期化」を選択します。



項目	内容
設定をファイルに保存	[保存]ボタンをクリックすると、本機に設定されている情報を設定ファイルとして保存、取得することができます。
設定をファイルから読み込む	[ファイルを選択]ボタンをクリックすると、任意の場所に保管している設定ファイルを本機上にセットすることができます。 設定ファイルをセットした後に、[読込]ボタンをクリックすると、設定ファイルの内容を反映することができます。※1
設定を工場出荷値に戻す	[実行]ボタンをクリックすると、本機の設定が全て工場出荷値に戻ります。 ※2

※1: [読込]ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。

※2: [実行]ボタンをクリックした直後より、初期化作業と再起動が実施されます。

7.9 ユーザー・パスワード設定

本機の WebGUI へログインする際のユーザー名とパスワードを設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ユーザー・パスワード設定」を選択します。

項目	内容
ユーザーログインを有効にする	有効にすると、ユーザーアカウントを使って、ユーザーUI を利用できます。
・ 管理者	管理者名を設定する場合にチェックを入れます。
・ 新しいユーザー名	新しいユーザー名を入力します。
・ 新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
・ 新しいパスワード(再入力)	新しいパスワードで入力した同一内容を入力します。
・ ユーザー	ユーザー名を設定する場合にチェックを入れます。
・ 新しいユーザー名	新しいユーザー名を入力します。
・ 新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
・ 新しいパスワード(再入力)	新しいパスワードで入力した同一内容を入力します。

7.10 ローカル再起動時刻設定

本機の再起動スケジュールを設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ローカル再起動時刻設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1700設定項目

- 状態表示
- 動作モード
- ネットワーク設定
- 無線LAN設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - ローカル再起動設定
 - ネットワークキューティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー名・パスワード設定
- 再起動
- ログアウト

ローカル再起動時刻設定

再起動の時刻設定ページです。サーバから再起動時刻を取得できなかったときやAPモードで動作させている場合に動作します。

時刻設定なしの場合や時刻情報を取得できなかった場合は、設定した時刻に動作しない場合があります。

ローカル再起動を有効にする

曜日 日曜 ▼ 時 00 ▼ 分 00 ▼

キャンセル 保存 保存して再起動

項目	内容
ローカル再起動を有効にする	ローカル再起動を有効にする場合にチェックを入れます。
曜日	「毎日」「月曜」～「日曜」から選択します。
時	「00」～「23」から選択します。(1 時間間隔)
分	「00」～「50」から選択します。(10 分間隔)

注意事項

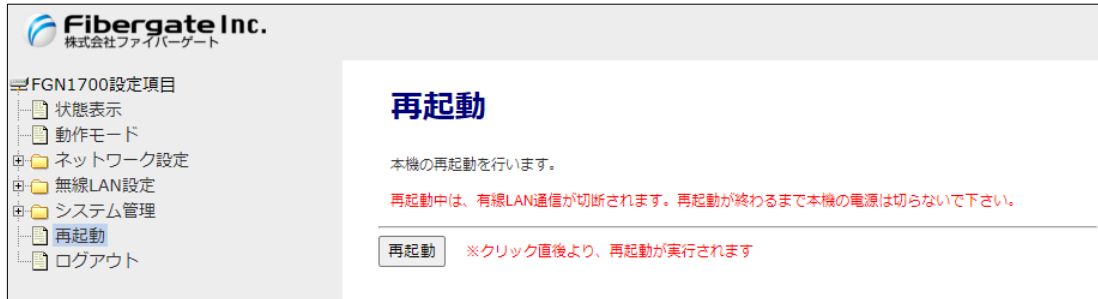
本機能はアクセスポイントモード時のみの機能になります。ルーターモード時は利用できません。

8 再起動とログアウト

本機の再起動とログアウトを行います。

- 再起動

左のメニューリストから「再起動」を選択します。



項目	内容
[再起動]ボタン	ボタンをクリックすると即時、本機の再起動が開始します。

- ログアウト

左のメニューリストから「ログアウト」を選択します。



項目	内容
[ログアウト]ボタン	ボタンをクリックすると本機の WebGUI からログアウトします。

9 ユーザーログインモード

「7.11 ユーザー・パスワード設定」で、ユーザーログインを有効にすると、ユーザー権限で、無線 LAN 設定のみを設定・操作ができる変更できるユーザーログインモードが利用できます。

- 作成したユーザーでログインすると、ユーザーログインモードでログインできます。

ログイン後、「状態表示」画面がトップページとして表示されます。

状態表示

[再読み込み](#)

システム・リダイレクト情報	
システム情報	
システム起動時間	2 mins, 15 secs
ファームウェアバージョン	v3.0.7
ビルド時刻	Jan 27 08:58:16 UTC 2023
CPUロードアベレージ	0.87 0.57 0.22 (過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	1/85 (現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:246376 Used:81744 Free:164632 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	41 最大16384
リダイレクトサーバ設定	
UnitName	1009067_001
サーバ(URL)	notify01.fgnwifi.jp
サーバ接続状態	接続
HTTPSリダイレクト設定	有効
iOS Captive Portal設定	有効
リダイレクトグループ	REDIRECT3 REDIRECT4
シンプルリダイレクトグループ	
リダイレクト無効グループ	
リダイレクト未設定グループ	REDIRECT1 REDIRECT2 REDIRECT5 REDIRECT6
リモートアップデート	無効
スケジュール再起動	無効
WAN設定情報	
WANポート (IPv4)	
接続モード	DHCPクライアント
IPv4アドレス	192.168.0.12
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
MACアドレス	98:2D:BA:74:02:35

項目	内容
[再読み込み]ボタン	ボタンをクリックすると本機の最新の状態が再表示されます。

- 左側の「▷」マークをクリックすると、無線 LAN 設定のメニューが表示できます。



設定項目	内容
状態表示	本機の状態が表示されます。
無線 LAN 設定	ユーザーモードでの無線設定が可能です。
・WPS 設定	無線 LAN の WPS に関する設定を行います。(6.3 WPS 設定参照)
・無線 LAN(5GHz)設定	無線 LAN(5GHz)の設定を行います。
・基本設定	ルート SSID に関して、SSID 名,,ブロードキャスト SSID,チャンネル番号 ,暗号モードを設定できます。
・マルチ SSID 設定	マルチ SSID1-4 に関して、各 SSID 名,ブロードキャスト SSID,チャンネル番号,暗号モードを設定できます。
・スケジュール設定	スケジュールに関する設定を行います。(6.1.6 スケジュール設定参照)
・無線 LAN(2.4GHz)設定	無線 LAN(2.4GHz)の設定を行います。
・基本設定	ルート SSID に関して、SSID 名,,ブロードキャスト SSID,チャンネル番号 ,暗号モードを設定できます。
・マルチ SSID 設定	マルチ SSID1-4 に関して、各 SSID 名,ブロードキャスト SSID,チャンネル番号,暗号モードを設定できます。
・スケジュール設定	スケジュールに関する設定を行います。(6.2.6 スケジュール設定参照)
ログアウト	WebGUI からログアウトを行います。

9.1 無線 LAN(5GHz)設定

無線 LAN(5GHz)の設定を行います。

9.1.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)設定」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

▶ ルートSSID

ブロードキャストSSID

チャンネル番号

暗号モード

認証方式 Radiusサーバー 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

事前共有キーのフォーマット

事前共有キー

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合に ON にします。
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。 (暗号モードの詳細は、6.1.3 セキュリティ設定参照)

9.1.2 無線 LAN 5GHz マルチ SSID 設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)設定」→「無線 LAN 5GHz マルチ SSID 設定」を選択します。

無線LAN 5GHz マルチSSID設定

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。

無線マルチSSID1を無効にする

▶ マルチSSID

ブロードキャストSSID

暗号モード

認証方式 Radiusサーバー 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

事前共有キーのフォーマット

事前共有キー

無線マルチSSID2を無効にする

マルチSSID

ブロードキャストSSID

暗号モード

無線マルチSSID3を無効にする

マルチSSID

ブロードキャストSSID

暗号モード

無線マルチSSID4を無効にする

マルチSSID

ブロードキャストSSID

暗号モード

項目	内容
無線マルチ SSID を無効にする	無線マルチ SSID1-4 を無効にする場合にそれぞれ ON にします。
マルチ SSID	ルート SSID を設定します。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。 (暗号モードの詳細は、6.1.3 セキュリティ設定参照)

9.2 無線 LAN(2.4GHz)設定

無線 LAN(2.4GHz)の設定を行います。

9.2.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(2.4GHz)設定」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

無線LANを無効にする

▶ ルートSSID

ブロードキャストSSID

チャンネル番号

暗号モード

認証方式 Radiusサーバー 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

事前共有キーのフォーマット

事前共有キー

項目	内容
無線 LAN を無効にする	無線 LAN を無効にする場合に ON にします。
ルート SSID	ルート SSID を設定します。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。 (暗号モードの詳細は、6.2.3 セキュリティ設定参照)

9.2.2 無線 LAN 2.4GHz マルチ SSID 設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(2.4GHz)設定」→「無線 LAN 2.4GHz マルチ SSID 設定」を選択します。

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

無線マルチSSID1を無効にする

▶ マルチSSID

ブロードキャストSSID

暗号モード

認証方式 Radiusサーバー 事前共有キー

WPA暗号化方式 TKIP AES TKIP/AES

事前共有キーのフォーマット

事前共有キー

無線マルチSSID2を無効にする

マルチSSID

ブロードキャストSSID

暗号モード

無線マルチSSID3を無効にする

マルチSSID

ブロードキャストSSID

暗号モード

無線マルチSSID4を無効にする

マルチSSID

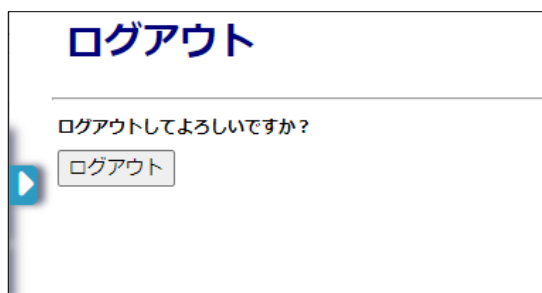
ブロードキャストSSID

暗号モード

項目	内容
無線マルチ SSID を無効にする	無線マルチ SSID1-4 を無効にする場合にそれぞれ ON にします。
マルチ SSID	ルート SSID を設定します。
ブロードキャスト SSID	ブロードキャスト SSID の動作(無効/有効)を選択します。
チャンネル番号	無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
暗号モード	前項で選択した SSID の暗号化モードを選択します。 (暗号モードの詳細は、6.2.3 セキュリティ設定参照)

9.3 ログアウト

左のメニューリストから「ログアウト」を選択します。

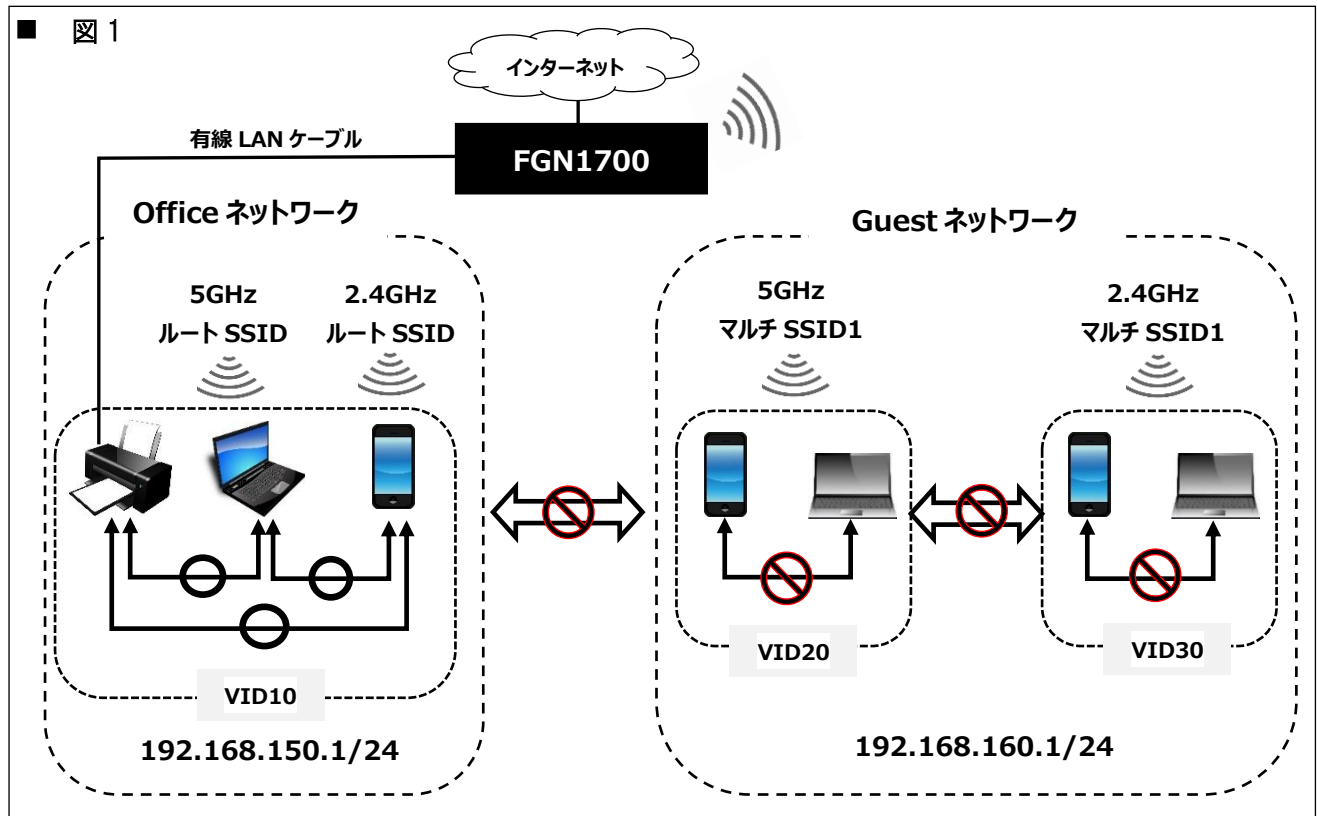


項目	内容
[ログアウト]ボタン	ボタンをクリックすると本機の WebGUI からログアウトします。

10 付録

10.1 設定例 - VLAN 設定(ネットワークを分離するケース)

- ユースケース・利用条件
 - ・ Office ネットワークと Guest ネットワークを分離する
 - ・ Office ネットワーク、Guest ネットワークともにインターネットへの通信を行う
 - ・ Office ネットワークは、192.198.150.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はルート SSID を使用する
 - ・ Guest ネットワークは、192.198.160.1/24 のネットワーク帯とし、Wi-Fi はマルチ SSID1 を使用する
 - ・ Office ネットワークに接続している端末間の通信は許可する
 - ・ Guest ネットワークに接続している端末間の通信は遮断する
 - ・ Guest ネットワークに接続する端末は Wi-Fi 接続のみとする



■ 設定値

ネットワーク	インタフェース	VID	VLAN IP グループ	IP アドレス帯	無線クライアント間通信遮断
Office ネットワーク	有線 LAN ポート 1-2	10	グループ 0	192.168.150.1/24	---
	無線 LAN(5GHz)ルート SSID				無効
	無線 LAN(2.4GHz)ルート SSID				無効
Guest ネットワーク	無線 LAN(5GHz)マルチ SSID1	20	グループ 1	192.168.160.1/24	有効
	無線 LAN(2.4GHz)マルチ SSID1	30			有効

■ 設定内容

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。

VLANを有効にする

VLAN IP設定

インタフェース	種別	Tag	VLAN ID(2-4094)	グループ
有線LANポート1「LAN」	LAN	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
有線LANポート2「LAN(OUT)」	LAN	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
無線LAN(5GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	20	グループ1
無線LAN(5GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(5GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)ルートSSID	LAN	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID1	LAN	<input type="checkbox"/>	20	グループ1
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID2	LAN	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID3	LAN	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
無線LAN(2.4GHz)マルチSSID4	LAN	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
有線WANポート1	WAN	<input type="checkbox"/>	1	-

VLAN IP設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.150.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
グループ1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.160.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

キャンセル 保存 保存して再起動

グループ1IP設定 ④-(1)

グループ1のIPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

グループ1IPアドレス

グループ1サブネットマスク

グループ1DHCPサーバー設定

DHCPサーバー

付与IPアドレス範囲

先頭 終了 クライアント表示

固定IPアドレス付与設定

リース期限 (15-10080分)

ドメイン名

キャンセル 保存 閉じる

- 「VLANを有効にする」にチェックを入れます。
- Office ネットワーク用に LAN ポート 2~4、無線 LAN (5GHz) ルート SSID、(2.4GHz) ルート SSID の VLAN ID に 10 を入力します。
- Guest ネットワーク用に無線 LAN (5GHz) マルチ SSID1 の VLAN ID に 20、(2.4GHz) マルチ SSID1 の VLAN ID に 30 を入力します。
- VLAN IP 設定内のグループ 1 にチェックを入れ、[IP 設定] ボタンをクリックします。
- ④-(1) グループ 1IP 設定内の DHCP サーバーを「有効」に設定し、[保存] ボタンをクリックします。
- 無線 LAN (5GHz)、(2.4GHz) マルチ SSID1 の VLAN IP グループで「グループ 1」を選択します。
- [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「無線 LAN(5GHz)、(2.4GHz)」→「基本設定」を選択します。

無線LAN 5GHz 基本設定

無線LAN 5GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われます。

変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数

チャンネル幅

拡張チャンネル

チャンネル選択範囲

チャンネル番号

ルートSSID設定

ルートSSID

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID

帯域 (伝送速度)

送信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント

マルチSSID設定

マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz 基本設定

無線LAN 2.4GHzの基本設定（周波数、SSID、チャンネル設定など）を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われます。

変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

無線LANを無効にする

周波数

チャンネル幅

拡張チャンネル

チャンネル番号

ルートSSID設定

ルートSSID

無線クライアント間通信遮断

ブロードキャストSSID

帯域 (伝送速度)

送信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

受信速度制限 (Mbps) Mbps (0: 制限無し)

接続無線クライアント

マルチSSID設定

マルチSSID設定

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 5GHz マルチSSID設定 ⑧-(1)

無線LAN 5GHzのマルチSSID設定を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われます。

変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	5 GHz (a+nac)	Guest_5G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID2	5 GHz (a+nac)	Ign1300W_WAP2_5G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID3	5 GHz (a+nac)	Ign1300W_WAP3_5G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID4	5 GHz (a+nac)	Ign1300W_WAP4_5G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

無線LAN 2.4GHz マルチSSID設定 ⑧-(1)

無線LAN 2.4GHzのマルチSSID設定を行います。

設定変更後、本機の再起動が行われます。

変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

マルチSSID	周波数	マルチSSID	無線クライアント間通信遮断	ブロードキャストSSID	帯域 (伝送速度)	送信速度制限 (Mbps)	受信速度制限 (Mbps)	接続無線クライアント
SSID1	2.4 GHz (b+gn)	Guest_2.4G	<input type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID2	2.4 GHz (b+gn)	Ign1300W_WAP2_2.4G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID3	2.4 GHz (b+gn)	Ign1300W_WAP3_2.4G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示
SSID4	2.4 GHz (b+gn)	Ign1300W_WAP4_2.4G	<input checked="" type="checkbox"/>	有効	Auto	0	0	表示

キャンセル 保存 保存して再起動

- 基本設定内の「無線クライアント間通信遮断」のチェックを外し、[保存] ボタンをクリックします。
- 基本設定内の [マルチ SSID 設定] ボタンをクリックし、マルチ SSID 設定画面を表示します。
- ⑧-(1) マルチ SSID1 の「無線クライアント間通信遮断」にチェックを入れ、[保存] ボタンをクリックします。
- 最終設定画面にて [保存して再起動] をクリックし、設定が反映したら完了です。

10.2 工場出荷値一覧

機能		設定範囲	初期値		
動作モード		ルーター、アクセスポイント	ルーターモード		
LAN 設定	IP アドレス		192.168.150.1		
	サブネットマスク		255.255.255.0		
	DHCP サーバー機能	無効、有効	有効		
	付与 IP アドレス範囲		先頭: 192.168.150.30 終了: 192.168.150.209		
	リース期限	15~10080 分	240 分		
	802.1d Spanning Tree	無効、有効	無効		
WAN 設定	IPv4 設定	WAN 接続モード	・IP アドレス固定 ・DHCP クライアント ・PPPoE クライアント	DHCP クライアント	
		MTU Size	1400~1500 bytes	1492	
		DNS	自動取得、固定設定	自動取得	
		UPnP	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		IGMP Proxy	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)	
		WAN 側からの PING 要求	チェックなし(拒否)、チェックあり(許可)	チェックなし(拒否)	
		WAN 側からの設定画面ログイン要求	チェックなし(拒否)、チェックあり(許可)	チェックなし(拒否)	
		L2TP/IPSec/PPPTP パススルー	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		IPv6 設定	WAN 接続モード	・無効 ・v6 コネクトモード ・IPoE: RA Type	無効
	VLAN 設定		VLAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)
VLAN IP 設定		VLAN IP 設定	VLANIP グループ: グループ 0~3	グループ 0	
有線 LAN ポート	LAN、LAN(OUT)、WAN	通信レート	・Auto ・10Base-Half-duplex ・10Base-Full-duplex ・100Base-Half-duplex ・100Base-Full-duplex ・1000Base-Full-duplex	Auto	
		電源	OFF、ON	ON	
無線 LAN 設定 5GHz/2.4GHz 共通	ルート SSID	無線 LAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		周波数	・5GHz : (a),(n),(a+n),(n+ac),(a+n+ac),(a+n+ac+ax) ・2.4GHz: (b),(g),(n),(b+g),(g+n),(b+g+n),(b+g+n+ax)	・5GHz(a+n+ac+ax) ・2.4GHz(b+g+n+ax)	
		チャンネル幅	・5GHz : 20MHz, 40MHz, 80MHz ・2.4GHz: 20MHz, 40MHz	・5GHz : 20MHz ・2.4GHz: 20MHz	
		拡張チャンネル	・5GHz : 自動 ・2.4GHz: 上側、下側	・5GHz : 自動 ・2.4GHz: 上側	
		チャンネル選択範囲 (5GHz 対象)	5GHz : ALL、W52、W56	5GHz : ALL	
		チャンネル番号	・5GHz : 自動(DFS), 36, 40, 44, ..., 144 ・2.4GHz: 自動, 1, 2, 3, ..., 13	・5GHz : 自動(DFS) ・2.4GHz: 自動	
		ルート SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数字、記号	RootSSID_5Ghz RootSSID_2.4Ghz	
		無線クライアント間通信遮断	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		ブロードキャスト SSID	無効、有効	有効	

機能		設定範囲	初期値		
無線 LAN 設定 5GHz/2.4GHz 共通	ルート SSID	帯域(伝送速度)	・5GHz :自動,NSS1-MCS0~NSS1-MCS9,NSS2-MCS0~NSS2-MCS9 ・2.4GHz:自動,1M,2M···,MCS15	・5GHz :自動 ・2.4GHz:自動	
		セキュリティ	・無効,WEP,WPA,WPA2,WPA3, WPA/WPA2-Mixed,WPA2/WPA3-Mixed ・TKIP,AES,TKIP/AES	無効	
	マルチ SSID 1~4	無線 LAN 機能	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		マルチ SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数字、 記号	MultiSSID1_5Ghz MultiSSID2_5Ghz MultiSSID3_5Ghz MultiSSID4_5Ghz MultiSSID1_2.4Ghz MultiSSID2_2.4Ghz MultiSSID3_2.4Ghz MultiSSID4_2.4Ghz	
		無線クライアント間 通信遮断	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		ブロードキャスト SSID	無効、有効	有効	
		帯域(伝送速度)	・5GHz :Auto,NSS1-MCS0~NSS1-MCS9,NSS2-MCS0~NSS2-MCS9 ・2.4GHz:Auto,1M,2M···,MCS15	・5GHz :Auto ・2.4GHz:Auto	
		セキュリティ	・無効,WEP,WPA,WPA2,WPA3, WPA/WPA2-Mixed,WPA2/WPA3-Mixed ・TKIP,AES,TKIP/AES	無効	
		拡張 設定	フラグメントしきい値	数値(256~2346)	2346
			RTS しきい値	数値(0~2347)	2347
	ビーコン間隔		数値(20~1024)	100	
	プリアンブルタイプ (2.4GHz 対象)		ロングプリアンブル/ショートプリアンブル	ロングプリアンブル	
	プロテクション		有効、無効	無効	
	Aggregation		有効、無効	有効	
	Short GI		有効、無効	有効	
	送信出力		100%/70%/50%/35%/15%	100%	
	アクセス制御設定	・無効 ・登録した MAC アドレスアクセス許可 ・登録した MAC アドレスアクセス拒否	無効		
	スケジュール設定	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックなし(無効)		
	システム管理	システムモニタ	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効)	
		時刻情報設定(NTP クライアント)	チェックなし(無効)、チェックあり(有効)	チェックあり(有効) ntp.fibergate.ne.jp	
DoS 検知・防御設 定		無効、有効	・Port Scan:有効 ・SYN Flood:有効		
HTTPS リダイレクト設 定		無効、有効	有効		

10.3 入力・登録制限値一覧

機能	項目	入力・登録制限値
LAN 設定	DHCP 固定 IP アドレス	80 件
	ホスト名 (DHCP サーバー設定)	30 文字以内の半角の英字、数字、- (ハイフンマイナス) ※先頭に数字、- は不可、末尾に - は不可
WAN 設定	MTU size (DHCP クライアント)	数値 (1400~1500)
	MTU size (IP アドレス固定)	数値 (1400~1500)
	MTU size (PPPoE クライアント)	数値 (1360~1492)
	ホスト名 (DHCP クライアント)	30 文字以内の半角の英字、数字、- (ハイフンマイナス) ※先頭に数字、- は不可、末尾に - は不可
	PPPoE ユーザー名	1~64 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
	PPPoE パスワード	1~64 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
	v6 コネクト / アドレス変更通知に使用する通知キー	1~40 文字以内の半角の英字、数字
	v6 コネクト / アドレス変更通知に使用する通知パスワード	1~200 文字以内の半角の英字、数字
VLAN 設定	VLAN ID	数値 (2~4094)
IPv4 ファイアウォール設定	MAC フィルタリング	20 件
	ルーター宛フィルタリング	100 件
	ルーター通過フィルタリング	100 件
	ポートマッピング	200 件
	コメント	20 文字以内の半角の英字、数字、半角スペース - (ハイフンマイナス) : (コロン) ※先頭末尾に半角スペース登録は不可
無線 LAN 設定	SSID	1~32 文字以内の半/全角の英字、数字、記号
	WEP 暗号キー (ASCII)	5 文字 (64bit) または 13 文字 (128bit) の半角の英字、数字、 - (ハイフンマイナス) _ (アンダースコア)
	WPA 事前共有キー (ASCII)	8~63 文字以内の半角の英字、数字、記号
	アクセス制御	20 件
	コメント	20 文字以内の半角の英字、数字、半角スペース - (ハイフンマイナス) : (コロン) ※先頭末尾に半角スペース登録は不可
時刻情報設定	NTP サーバー	64 文字以内の半角の英字、数字、. (ドット) _ (アンダーバー) - (ハイフンマイナス)
ユーザー名・パスワード設定	ユーザー名	16 文字以内の半角の英字、数字、記号
	パスワード	32 文字以内の半角の英字、数字、記号

利用可能記号一覧

! (感嘆符)	, (コンマ)	[(始め亀甲括弧)
- (ハイフンマイナス)	. (ピリオド)] (終わり亀甲括弧)
\$ (ドル記号)	/ (スラッシュ)	^ (サーカムフレックス)
% (パーセント記号)	_ (アンダースコア)	& (アンパサンド)
; (セミコロン)	` (グレイヴ・アクセント)	< (不等号 (より小))
{ (始め波括弧)	((始め丸括弧)	= (等号)
) (終わり丸括弧)	> (不等号 (より大))	} (終わり波括弧)
? (疑問符)	+ (プラス記号)	@ (単価記号)

10.4 製品仕様

カテゴリ	項目	概要	備考	
ハードウェア	CPU	880MHz 2 コア		
	RAM	256MB DDR3		
	Flash ROM	128MB		
	ボタン	電源スイッチ リセットボタン WPS ボタン		
	LED(7色)	(青色)Wi-Fi有効/WAN:IPv4接続/FGN3.0接続		
		(緑色)Wi-Fi有効/WAN:IPv6接続/FGN3.0接続		
		(紫色)Wi-Fi有効/WAN:IPv4接続/FGN3.0切断		
		(黄色)Wi-Fi有効/WAN:IPv6接続/FGN3.0切断		
		(白色)Wi-Fi無効/WAN:IPv4接続		
		(水色)Wi-Fi無効/WAN:IPv6接続		
		(赤色) WAN:切断		
		(消灯)電源オフ		
	イーサネット :LAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×2	背面×1(PoE OUT) 側面×1	
	イーサネット :WAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×1	背面×1 (PoE IN)	
	無線 LAN	IEEE802.11 b/g/n/a/ac/ax		
	電源	DC12V/1.5A(50/60Hz)		
		Power over Ethernet (IEEE802.3af/at 準拠)		
	PoE 給電	Power over Ethernet (IEEE802.3af 準拠)	PoE 受電時 のみ利用可能	
	外形寸法	約 116 (W) × 120 (H) × 35 (D) mm	突起部除く	
	質量	約 360g	製品本体のみ	
消費電力	最大: 約 13W			
動作環境	温度: 0~40°C、湿度 5~90%	結露なきこと		
保存環境	温度: -20~70°C、湿度 5~90%	結露なきこと		
有線 LAN	対応規格	IEEE802.3i (10BASE-T)		
		IEEE802.3u (100BASE-TX)		
		IEEE802.3ab (1000BASE-T)		
		IEEE802.3af/at (Power over Ethernet)		
	インターフェース	RJ-45 ポート × 3		
伝送速度	10/100/1000Mbps (オートネゴシエーション、 オート MDI/MDI-X)			

カテゴリ	項目	概要	備考	
無線 LAN	対応規格	IEEE802.11 b/g/n/a/ac/ax		
	対応チャンネル	2.4GHz : 1~13ch 5GHz : 36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch		
	対応周波数	2.4GHz、5GHz (W52/W53/W56)		
	伝送速度	IEEE802.11b : 最大 11Mbps		
		IEEE802.11g : 最大 54Mbps		
		IEEE802.11n : 最大 300Mbps		
		IEEE802.11ac : 最大 867Mbps		
		IEEE802.11ax : 最大 1201Mbps		
	伝送方式	DSSS 方式 (直接拡散型スペクトラム拡散)		
		OFDM 方式 (直交周波数分割多重変調)		
		OFDMA 方式 (直交周波数分割多元接続)		
	アンテナ	2.4GHz/5GHz 内蔵アンテナ×2	※1	
	SSID	最大 10 個		
	動作モード	インフラストラクチャモード		
セキュリティ	WEP (キー長 : 64bit/128bit)			
	WPA/WPA2-PSK (暗号化 : TKIP/AES)			
	WPA3-SAE (暗号化 : AES)			
	MAC アドレスフィルタリング			
	無線 LAN クライアント間通信遮断			
ソフトウェア	動作モード切替	ルーター、AP モード 切替		
	WAN 回線	IPv4 IP アドレス固定 (手動設定)		
		IPv4 DHCP クライアント		
		IPv4 PPPoE クライアント		
		v6 コネクト (IPv4 over IPv6 接続)	※2	
	アドレス変換	NAPT (IP マスカレード)、ヘアピン NAT		
	IPv4 ファイアウォール	MAC フィルタリング、各種パケットフィルタリング、ポートマッピング	※3	
	IPv6 ファイアウォール	IPv6 SPI (Stateful Packet Inspection)	※4	
	LAN 基本機能	DHCP サーバ (有効/無効)		
		IP アドレス固定付与設定		
	VLAN 機能	ポートベース VLAN、マルチプル VLAN、タグ VLAN (IEEE802.1Q)	※5	
	無線 LAN スケジュール機能	無線 LAN 動作に関するスケジュール設定		
	VPN 対応	IPsec/L2TP/PPTP パススルー		
	ログ機能	システムログ		
	コンフィグ管理	保存/リストア		
		指定 Web サイトへのリダイレクト		
		弊社プラットフォームを活用した Web サイトへのリダイレクト		
バージョンアップ機能	ネットワーク経由での自動バージョンアップ設定			
スケジュール再起動機能	ネットワーク経由での定期再起動設定			
WebUI 機能	設定 UI			

カテゴリ	項目	概要	備考
ラベル	底面パネル	型番、販売元、認証ロゴ（JATE、TELEC、VCCI class-B）、シリアル番号・LAN MAC アドレス・Registry Key（各バーコード）	

※1. アンテナ利得

・ 2.4GHz : 3.97dBi ・ 5GHz : 5.18dBi

※2. 以下の IPv6 通信を利用したサービスについては動作保証しておりません。

- ・ IPv6 マルチキャスト通信を利用した通信サービス
- ・ 本機の上位側からの IPv6 アドレスの払い出しが DHCPv6-PD を利用した通信サービス

※3. AP モード選択時は、本機宛パケットフィルタリングのみ利用できます。

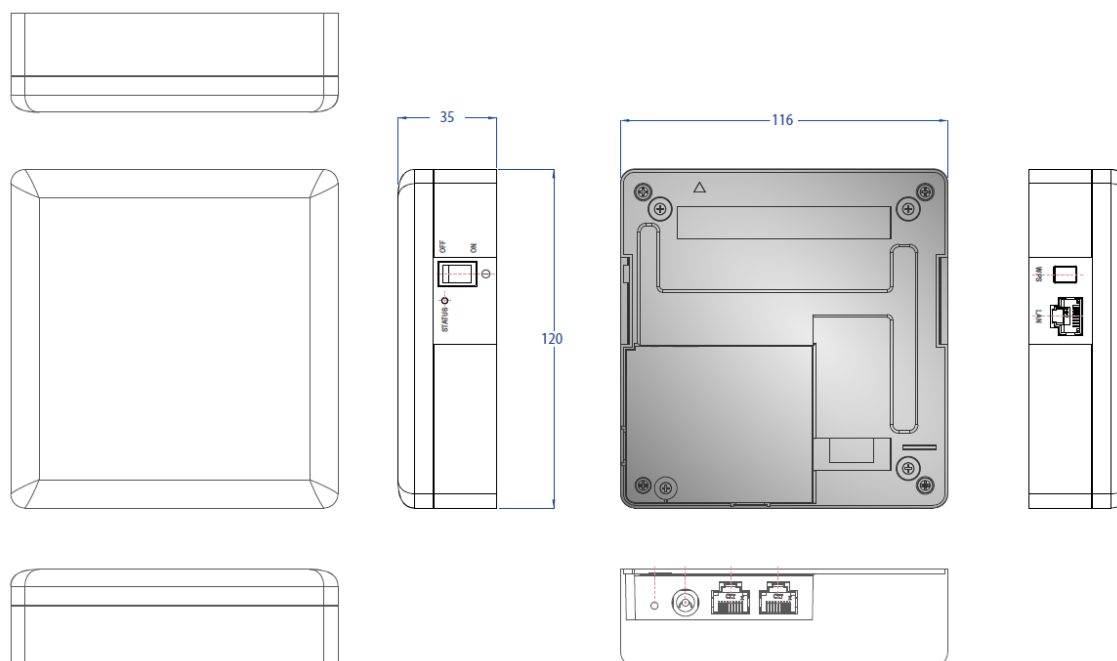
※4. IPv6 SPI 機能は固定設定です。

※5. VLAN 設定時の UP リンクポートは、WAN ポートのみで固定設定です。

Trunk ポート VLAN には対応しておりません。

10.5 筐体寸法

単位:mm



10.6 トラブルシューティング/Q&A 集

Q. 電源が入らない。(本機の電源スイッチを ON にしても電源 LED が点灯しない)

1. 電源アダプタと電源コードが正しく接続されているか確認してください。
2. 本機と電源プラグが正しく接続されているか確認してください。
3. PoE 給電を行っている場合、WAN ポートに LAN ケーブル(RJ45)が正しく接続されているか確認してください。

Q. 本機の WebGUI にアクセスできない。

1. 接続端末(PC 等)と本機の LAN ポートが、LAN ケーブル(RJ45)で正しく接続されているか確認してください。
2. 接続端末(PC 等)が接続する接続端末側の LAN のリンク LED が点灯しているか確認してください。
3. 接続端末(PC 等)の LAN 設定の IP アドレスがアクセス制限内のアドレスで固定されているか確認して下さい。
4. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターの IP アドレスと重複していないか確認してください。

Q. 本機を介して、インターネットへ接続できない。

1. WAN の IP アドレスが正しく取得されているか確認してください。
2. 接続端末(PC 等)の LAN の IP アドレスが自動取得になっているか確認してください。
3. 接続端末(PC 等)がルーターから配布される IP アドレスを正しく取得しているか確認してください。
4. 接続端末(PC 等)のデフォルトゲートウェイ、DNS が正しく取得、設定されているか確認してください。
5. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターのネットワーク帯と同じ値になっているか確認してください。

本書の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

株式会社ファイバークエスト

【URL】 <https://www.fibergate.co.jp/>